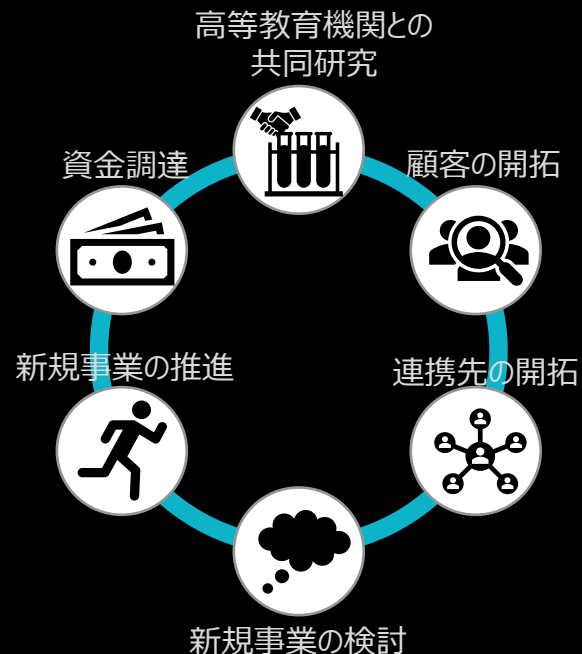


中部 新事業展開・創造プラットフォーム

中部（愛知・岐阜・三重）エリアの地域経済を牽引する存在である、中堅・中核企業様の新規事業展開（新分野への進出、新たなビジネスモデルの導入等）を支援するプラットフォームです

中堅・中核企業からの技術開発や販路開拓などの相談に対応しながら、新たな一步への後押しします



プラットフォームメンバー

<企業（産）>

株式会社百五総合研究所
株式会社十六総合研究所
株式会社 ブイ・アール・テクノセンター

<行政（官）>

三重県
岐阜県
三重県工業研究所
岐阜県産業技術総合センター
独立行政法人工業所有権情報・研修館

<金融機関（金）>

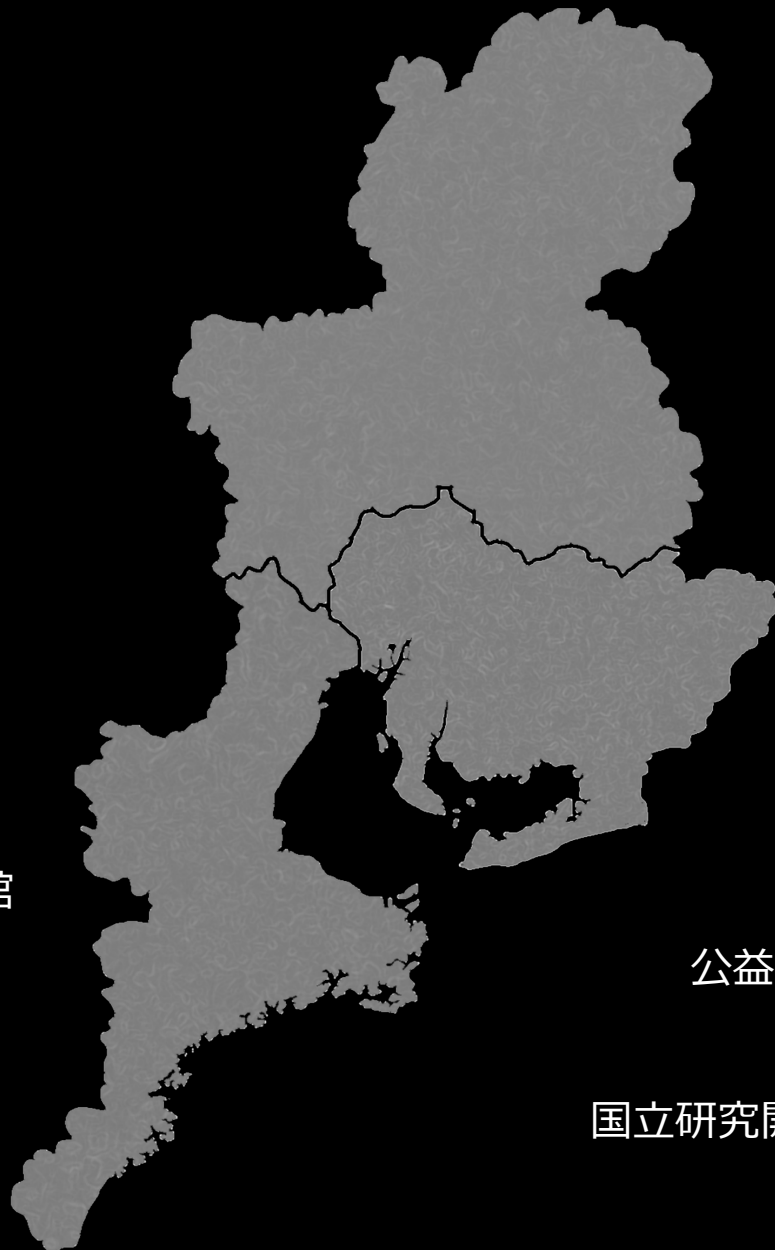
株式会社百五銀行
株式会社十六銀行

<教育機関（学）>

国立大学法人三重大学
皇學館大学
東海国立大学機構岐阜大学
国立大学法人豊橋技術科学大学
名古屋文理大学
鈴鹿工業高等専門学校
鳥羽商船高等専門学校

<その他支援機関>

公益財団法人岐阜県産業経済振興センター
公益財団法人ソフトピアジャパン
国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター



No.	カテゴリ（産・学・官・金・その他支援機関）	名称	企業情報	連携リソース
1	産	株式会社百五総合研究所	〒514-8666 三重県津市岩田21番27号 059-228-9105	詳細はこちら
2	産	株式会社十六総合研究所	〒500-8833 岐阜県岐阜市神田町7丁目12 058-266-1916	詳細はこちら
3	産	株式会社 ブイ・アール・テクノセンター	〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ1丁目1番地 058-379-2277	詳細はこちら
4	学	国立大学法人三重大学	〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 059-232-1211	詳細はこちら
5	学	皇學館大学	〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本超1704 0596-22-0201	詳細はこちら
6	学	東海国立大学機構岐阜大学	〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1 058-230-1111	
7	学	国立大学法人豊橋技術科学大学	〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 0532-47-0111	詳細はこちら
8	学	名古屋文理大学	〒492-8520 愛知県稲沢市稲沢町前田365 0587-23-2400	詳細はこちら
9	学	鈴鹿工業高等専門学校	〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町 059-386-1031	詳細はこちら
10	学	鳥羽商船高等専門学校	〒517-8501 三重県鳥羽市池上町1-1 0599-25-8000	詳細はこちら
11	官	三重県	〒514-8570 三重県津市広明町13番地 059-224-3070	詳細はこちら
12	官	岐阜県	〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2丁目1番1号 058-272-1111	詳細はこちら
13	官	三重県工業研究所	〒514-0819 三重県津市高茶屋5丁目5番45号 059-234-4036	詳細はこちら
14	官	岐阜県産業技術総合センター	〒501-3265 岐阜県関市小瀬1288 0575-22-0147	詳細はこちら
15	官	独立行政法人工業所有権情報・研修館	＜愛知県＞ 愛知県知財総合支援窓口 〒464-0855 名古屋市千種区千種通7-25-1 052-753-7635 ＜岐阜県＞ 岐阜県知財総合支援窓口 〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ1-1 058-325-8098 ＜三重県＞ 三重県知財総合支援窓口 〒514-0004 三重県津市栄町1-891 059-253-8310	詳細はこちら
16	金	株式会社百五銀行	〒514-8666 三重県津市岩田21番27号	詳細はこちら
17	金	株式会社十六銀行	〒500-8833 岐阜県岐阜市神田町8丁目26番地	詳細はこちら
18	その他支援機関	公益財団法人岐阜県産業経済振興センター	〒500-8505 岐阜県岐阜市藪田南5-14-53 058-277-1090	詳細はこちら
19	その他支援機関	公益財団法人ソフトピアジャパン	〒503-8569 岐阜県大垣市加賀野4丁目1番地7 0584-77-1144	詳細はこちら
20	その他支援機関	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター	〒463-8560 愛知県名古屋市守山区桜坂四丁目205番地 052-736-7000	詳細はこちら

株式会社百五総合研究所

●Profile

住所 : 三重県津市岩田21番27号

設立 : 昭和60年7月29日

資本金 : 30百万円

HP : <https://www.hri105.co.jp/index.html>

<特徴>

三重県を中心に、地域経済や産業の発展をサポートする多角的なコンサルティングと調査研究を展開

1.地域密着型のシンクタンク

地域経済や産業の調査・分析を行い、地域社会の発展に貢献

2.多岐にわたる業務のコンサルティング

経営診断、人事・賃金制度構築、脱炭素取組支援、SDGs取組支援、BCP策定、企業研修、PPP/PFI手法の導入・事業実施支援

3.地方自治体向けの支援

自治体の政策立案支援や企業の経営改善コンサルティングを提供

4.調査研究活動

地域経済や産業の動向調査

5.人材育成・研修事業

企業向け研修、セミナーの開催等の実施

HRI 株式会社
百五総合研究所



株式会社百五総合研究所

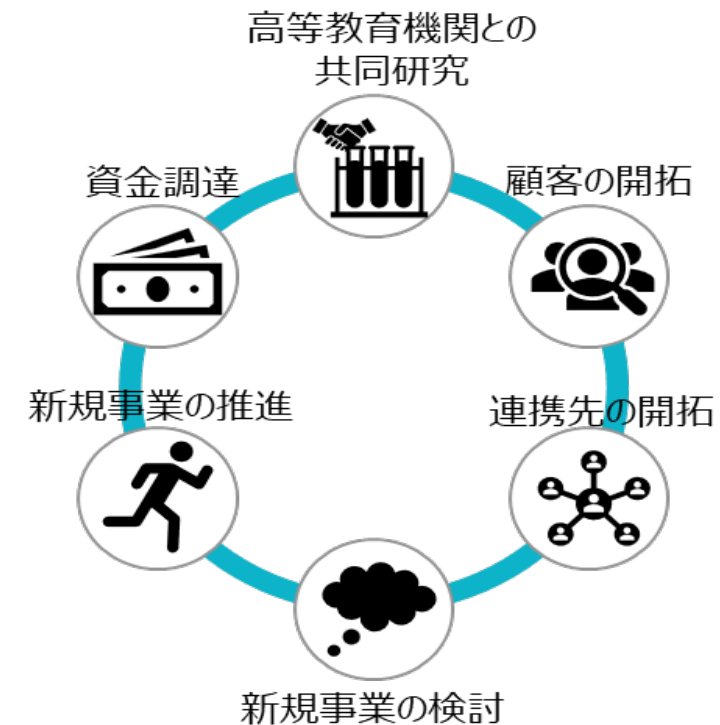
● 支援リソース・共同研究の実績など

新規事業開発に資する支援リソース例

- 経営改善支援
- 賃金・人事・雇用管理
- 各種調査（アンケート調査、ヒアリング調査、統計データの整理・分析）
- 受託業務（一例）
 - ・中堅・中核企業の経営力強化支援事業補助金（プラットフォーム構築による新事業展開等支援事業）
 - ・四日市市新産業拠点施設スタートアップ支援及び産業情報発信機能基本計画策定
 - ・木曽岬町ローカル・スタートアップ・エコシステム構築業務
 - ・SDGs未来都市推進支援業務
 - ・地域商社を活用した海外販路開拓モデル構築事業業務
 - ・インターネット通販サイト販売促進（情報発信技術向上）支援事業委託業務

その他実績はこちら

➡ https://www.hri105.co.jp/consulting/private_jisseki.html



株式会社十六総合研究所

●Profile

<住所>

岐阜県岐阜市神田町7丁目 1 2 十六ビル 7 階

<特徴>

- 十六フィナンシャルグループのシンクタンクとして、地域社会における経済や産業等の調査・研究を行い、また、経営承継、人事制度等のコンサルティングに加えて、人材紹介業務を行っている。

<業務内容>

業務内容

【リサーチ部】

- 経済、産業、企業動向調査・研究
- 行政計画、地域機開発等の調査受託
- 調査・研究などの情報発信、提言

【コンサルティング部】 ●経営コンサルティング ●人事コンサルティング

- 人材紹介サービス

【企画事業部】

- セミナーの企画・運営 ●経営管理
- 事業の企画運営

<外観>



株式会社十六総合研究所

● 支援リソース、実績など

＜調査・研究＞

- 産業・企業動向調査・研究
- その他独自の調査・研究
- 地域活性化提言
- 消費動向調査・研究
- 国・地方公共団体等からの事業受託
- 機関誌の発行

＜コンサルティング＞

- 人事制度構築支援
- 経営承継支援
- 財務管理支援
- 人材育成支援
- 組織活性化支援
- その他支援

＜人材紹介サービス＞

- 人材マッチングノウハウの活用および提携人材紹介会社との連携により、幅広い業種・職種の人材を紹介します。

＜セミナー・講演会＞

- 人材育成のお手伝い
- 専門知識の習得や最新情報の収集のお手伝い
- 各種講演会の開催・社内研修の支援

株式会社バイ・アール・テクノセンター

● Profile

＜所在地＞ 岐阜県各務原市テクノプラザ 1 丁目 1 番地

- 1993年3月、「頭脳立地法」に基づき、地域産業の高度化を理念に岐阜県、(独)中小企業基盤整備機構、各務原市、民間36社の出資による第3セクターとして設立されました。
- 「地域産業の高度化」というミッションのもと、下記4つの事業を実施しています。
 - 1：テナント事業…全30室を擁するテナントオフィスを運営・管理。
 - 2：ネットワーク事業…地域通信インフラの構築運用保守から、最新通信技術（ローカル5G）を支援。
 - 3：人材育成・研修事業…専門的な航空機製造技術から、CAD・ロボット研修などの新技術研修・セミナーを開催。
 - 4：DX・SI（システムインテグレーション）事業…ものづくり企業などあらゆる企業の技術開発をコンサルティングからシステム設計・開発保守までサポート。



株式会社バイ・アール・テクノセンター

●支援リソース、実績など

(1) 技術調査・試作開発・システム構築受託開発

- ・VR、IoT（センシングデバイス、アクチュエータ）、AI、ロボットシステムの技術相談・技術調査・試作開発・システム構築まで幅広くご要望に合わせて支援しております。
- ・生産設備の自動化（検査・組立・搬送・その他）技術導入
- ・自律運転技術の開発
- ・衛星を介した位置情報を用いた開発
- ・A I による音声認識応答・画像認識・文書生成開発

(2) 技術調査・開発代行（企業秘密を遵守し支援致します。）

大手企業様から秘匿性の高い技術調査・試作開発などの委託を受け調査や開発業務を行っています。

(3) なんでもお困り相談

部品の調達から技術支援など課題解決を支援します。

また、何から進めていけばよいかわからない場合、技術コンサルティングにて課題解決を支援致しております。

● Profile

三重県伊勢市神田久志本町1704番地

HP : <https://www.kogakkan-u.ac.jp/>

- 明治15年に、神宮祭主久邇宮朝彦親王の令達により創設。
- 吉田茂氏をはじめ首相経験者が総長を務めるなど、140有余年に及ぶ歴史と伝統を誇る。
- 神道を基盤として、学生の日本の歴史・伝統・文化を尊ぶ心を育み、国家社会に貢献できる人物へと成長させることを精神の基本とする。
- 学部は、文学部、教育学部、現代日本社会学部の三学部からなる。
- 文学部は神道学科、国文学科、国史学科、コミュニケーション学科から構成されている。
- その中でも、神道学科は全国に二つしか存在しない高等神職を養成する課程を有している。
- 教育学部は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教員を養成しており、小学校の教員採用試験の合格者は、長年、県内一位である。
- 現代日本社会学部は、課題解決型人材の輩出を目的としており、県内の自治体、警察、消防、自衛隊等の公務員や、東海圏の企業への人材輩出で実績を上げている。

● 記念館（登録有形文化財）



- 令和6年度地域観光新発見事業「お伊勢さんの本質を学び体験する産官学一体となった観光コンテンツ造成事業」（実施主体：伊勢市）に参画



皇學館大学

●支援リソース・共同研究の実績など

【大学生テレビ局】

- 学生が、地域の魅力を発信するドキュメンタリー番組や、地域のキーマンに社会人の心得を聞く対談インタビュー番組などを制作。県内外のケーブルテレビ局（ZTV）で毎月放送されている。プロのディレクターの指導の下、学生が番組の企画から取材交渉、撮影、編集までを学内の施設で行っており、開設10周年を迎えている。
- また、映像制作の受託事業をおこなっており、これまで志摩市、三重県等の自治体、三重県神社本庁、パナソニック、NTTdocomo、筑波大学などからの発注を受けた。
- 本取り組みは、社会人基礎力協議会主催「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」の2016年度中部地区大会で優秀賞を獲得。また、NHKや日テレ等のキー局および地方局ならびにケーブルテレビ各局が組織する「日本映像事業協会」が設けている「ヤング映像クリエイターを励ます賞」の学生部門で、2024度に優秀賞を受賞。

【日本酒プロジェクト「神都の祈り」】

- 本学と酒蔵と明和町が連携して、神事と稲作と新商品開発との新結合を意図した日本酒プロジェクト「神都の祈り」を2016年から行っている。本取り組みは「地方創生加速化交付金」を資本金に変えて事業を持続可能にした画期的な企画で、ここで生産された日本酒は、フランス、イギリス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルク、シンガポールの日本酒コンテストで最高賞等を受賞している。

【天津菅麻プロジェクト】

- 本学と明和町と農業生産法人等が連携して、古代の麻の聖地である斎宮領域で、神道に欠かせない麻産業の再興と幅広い発展を目指した「天津菅麻プロジェクト」を推進している。

その他、研究実績等はこちら（<http://kenkyu.kogakkan-u.ac.jp/center/gaibu.php>）

[一覧に戻る](#)

国立大学法人 豊橋技術科学大学

●Profile

<住所> 愛知県豊橋市天白町雲雀ヶ丘1-1

<開学> 1976（昭和51）年10月1日 （2026年創立50周年）

<現在の概要>

学科数：5課程（工学部），5専攻（博士前期），5専攻（博士後期）

▶ 機械工学系 ▶ 電気・電子情報工学系 ▶ 情報・知能工学系

▶ 応用化学・生命工学系 ▶ 建築・都市システム学系

学生数：1,987人（学部：1,135，大学院：852） うち留学生：253人（12.7%）

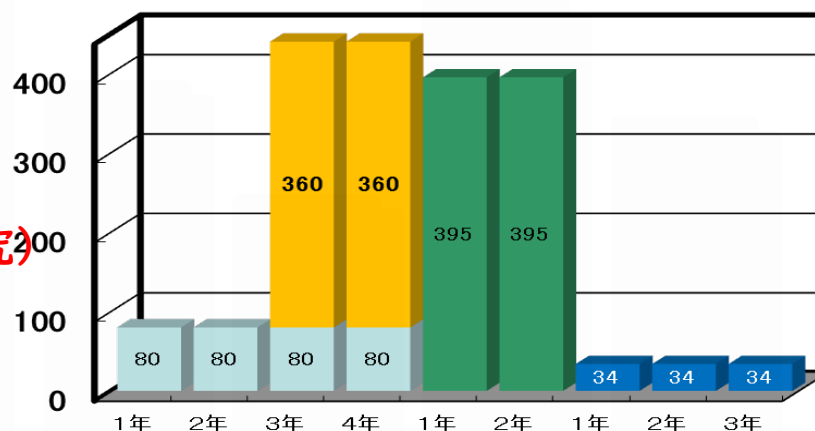
教職員：331人（役員：5，教員：198，職員：128）（2023.03.01現在）

地元からの強い要望と支援により設置された経緯から、地域貢献に重点を置いております。

敷地面積：355,606m²
東京ドームの7.6倍
学生1人当たり校舎面積全国2位

<特徴>

- ◆ 学生の80%が高専から
- ◆ 特色ある教育（らせん型教育、長期実務訓練）
- ◆ 大学院に重点を置いた教育体系
- ◆ 研究大学（基盤を支える研究、先端分野の研究）
- ◆ 多様な産学官連携と地域社会との連携
- ◆ 全国高専との連携



国立大学法人 豊橋技術科学大学



技術を究め、技術を創る

国立大学法人

豊橋技術科学大学



挑戦する大学

国際化

教育

研究

経営・
管理運営

■ 産学連携への取り組み

<教育> [社会人入学／長期履修制度](#)

[社会人向け実践教育プログラム](#) ◀



▶ [産業技術科学分野](#) ▶ [地域社会基盤分野](#)

<支援組織> [研究推進アドミニストレーションセンター](#)

[スタートアップ推進室](#) ▲

[社会連携推進センター](#)



<設備> [次世代半導体・センサ科学研究所 \(IRES²\)](#)

(製造設備, 分析機器)

[教育研究基盤センター](#) (分析機器, 工作機器)

[可搬機器貸出室](#)

<共用施設> [イノベーション施設](#)



▶ [オープンラボスペース](#)

▶ [インキュベーションスペース](#)

● 情報発信: [研究シーズの泉](#)

「研究シーズの泉」は、[豊橋技術科学大学](#)、[長岡技術科学大学](#)、[国立高等専門学校](#)の約4,000名の研究者のシーズを横断的に検索できるサイトです。



● 共同研究へのドア: [技術相談](#)

年間200件以上の技術相談, うち約40%が愛知県内。
約15%が共同研究に進展。



◆ IRES²半導体製造設備の利用例

年度別利用実績 (日数)

2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
9	19	10	16	31	36	42



1日9万円で全装置利用可!

▶半導体センサ関係(OPERA)

2018年10月～2024年3月

参画：全28社，5法人（コンソーシアム型共同研究）



▶組織対組織共同研究講座

①コベルコ建機：次世代クレーン共同研究講座

2019年4月～2027年3月

②シンフォニアテクノロジー：

次世代スマートファクトリー共同研究講座

2019年10月～2025年3月

③新東工業：先端融合ロボティクス共同研究講座

2020年7月～2023年3月

④豊橋ハートセンター：スマートホスピタル共同研究講座

2021年4月～2026年3月

▶知の拠点

第IV期（22年度～24年度）：7研究テーマが採択

▶イノベーション協働研究プロジェクト

共同研究ベースのマッチングファンド形式

▶認定大学発ベンチャー

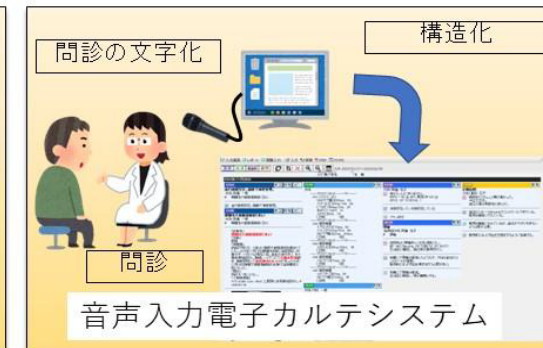
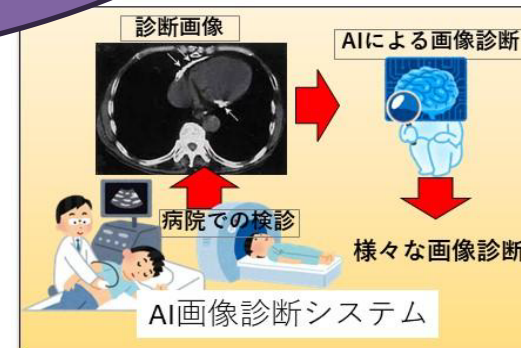
現在6社



産学研究例

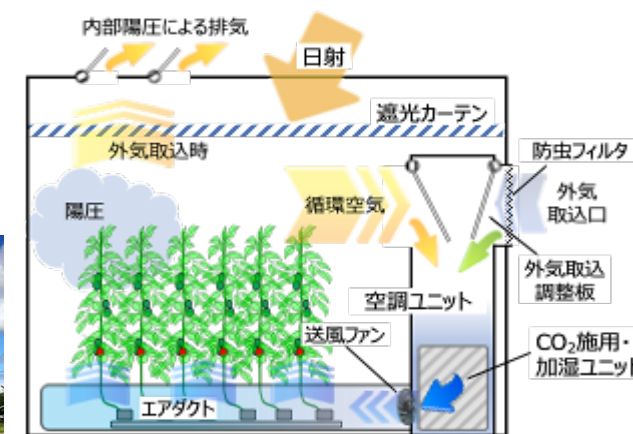
スマートホスピタル

情報・知能工学系
北岡 教英 教授



バイオガス発電

学生支援統括センター
大門 裕之 教授



データ駆動型 スマートDX農業への転換

機械工学系
高山 弘太郎 教授



[一覧に戻る](#)

名古屋文理大学

● Profile

愛知県稲沢市稲沢町前田365

アクセス:名鉄名古屋駅より国府宮駅まで11分 ⇒ 名鉄バス5分 ⇒ 徒歩 1 分

● 「情報メディア学部 情報メディア学科」 入学定員120名

1.情報システムコース 2.映像メディアコース 3.サウンド制作コース 4.メディアデザインコース

2年生になると上記、4つの専修コースから、1つを選択します。

選択したコースの授業科目だけでなく、他のコースの科目も履修することができます。

幅広い複合スキルを身に付けて、これからの社会で活躍するスペシャリストを目指します。

● 「健康生活学部 健康栄養学科（管理栄養士養成課程）」 入学定員80名

生活習慣病予防や健康寿命の延伸を目指して、管理栄養士の社会的ニーズは年々高まっています。

健康栄養学科では、管理栄養士の国家試験対策を独自のシステムで全面支援しています。

また、「長期病院研修プログラム」を設け、NST（栄養サポートチーム）で活躍できる管理栄養士を育成しています。

● 「健康生活学部 フードビジネス学科」 入学定員70名

「食」と「ビジネス」のプロフェッショナルを育成するフードビジネス学科では、

就職に直結する3つの領域（食品メーカー、食品流通、フードサービス）に加え、産官学連携プロジェクトにより実践力を養う「フードビジネスマイスター」認定制度を設けています。

≪ 5つの「フードビジネスマイスター」認定の学び ≫

1.商品開発マーケティング 2.食とデザイン 3.食空間プロデュース 4.食と環境 5.フードサイエンス

FLOS（フロース）館



自然光が差し込む「学生食堂」やプロ仕様の機材が並ぶ「フード実習室」、「レコーディングスタジオ」など、各学科の特徴を活かした施設設備が整っています。誰でも利用できる「コモンスペース」は、学科間の交流を促す共有空間となっています。

名古屋文理大学

● 支援リソース・共同研究の実績など

◆名古屋文理大学情報メディア学科では、2011年に日本の大学で初めて新入生全員にiPadを無償配布して以来、教育に活用してきました。今年度でiPad配布は13年目になります。

◆本学では、政府の「AI戦略2019」¹⁾に基づいて公開された「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム～データ思考の涵養～」(数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム)²⁾の学修目標に基づき、令和2年度より、構成する授業科目を示した教育プログラムとして実施方針を定めた「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」を全学で実施しています。

本プログラムを構成する基礎教育科目「数的処理Ⅰ」、「数的処理Ⅱ」、「情報リテラシー」は、いずれも全学部・全学科で必修科目であるため、本学学生全員が、このプログラムを修めることにより、デジタル社会の「読み・書き・そろばん」（デジタル社会を生きるための必須の基礎知識）である「数理・データサイエンス・AI」の基礎を学修し、日常生活および社会の様々な場面でAI技術やデータを有効かつ安全に活用することができる素養を身につけます。

1) 「AI戦略2019」（統合イノベーション戦略推進会議）2019

<https://www8.cao.go.jp/cstp///ai/index.html>

2) 「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～データ思考の涵養～」(数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム) 2020

http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/model_literacy.html

■ 産官学連携事業

健康栄養学科では、愛知県実施の「食の健康チャレンジプロジェクト」のひとつとして、ナッジ理論を活用した「自然に健康になれる食卓づくり」に取り組んでいます。ここでは、産官学連携（マックスバリュ清須春日店、清須市、清須市食生活改善推進協議会、愛知県清須保健所）し、野菜摂取量の向上や食生活改善のための仕組みを考案、販促物の作成、提供をしています。また、フードビジネス学科では、NBMS（NB：名古屋文理大学、M：メーカー、S：（株）昭和）商品開発プロジェクトや協定締結先の安城市と共同した安城丼レシピコンテスト等に取り組んでいます。

国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校

● Profile

三重県鈴鹿市白子町

- ・鈴鹿工業高等専門学校は、全国12の国立高専一期校のひとつとして1962年に設立。
- ・約10,000人の卒業生が技術者、研究者、企業家として活躍し、産業界から高い評価を受けている。
- ・機械工学科、電気電子工学科、電子情報工学科、生物応用化学科、材料工学科の5つの学科がある。
- ・スタートアップ教育環境整備やGEAR5.0事業中核拠点校として、最先端機器を揃え、学生の実践的教育に力を入れている。
- ・産学連携においては鈴鹿高専テクノプラザを中核に、地域企業の課題解決や人材確保支援に積極的に取り組んでいる。



国立高等専門学校機構 鈴鹿工業高等専門学校

● 支援リソース・共同研究の実績など

・学研費等

補助金・基金助成金

(令和5年度)	基盤研究 (B)	1件
	基盤研究 (C)	16件
	若手研究	1件

・共同研究

(令和5年度)	民間等との共同研究	10件
	共同研究 (産学官協働研究)	6件

・奨学寄附金

(令和5年度) 41件

・GEAR5.0 未来技術の社会実装教育の高度化

GEAR5.0マテリアル中核拠点校	1件
GEAR5.0エネルギー・環境ユニット協力校	1件

・鈴鹿高専テクノプラザ

地域企業との協働を通して、企業が技術開発を推進するとともに、地域産業界・地域社会と鈴鹿高専が緊密な連携をとって、学の持つ人的・知的能力を社会に役立て、県内の地域枠を越えた産学官の連携体制を構築することが重要です。この連携により、ものづくり企業の発展に寄与するとともに、鈴鹿高専の教育研究の振興を図るために2012年に「鈴鹿高専テクノプラザ」を設立しました。



鳥羽商船高等専門学校

● Profile

<住所>

三重県鳥羽市池上町 1 番 1 号

2025年、鳥羽商船高専は創基150周年を迎えます！

学科：商船学科、情報機械システム工学科

○商船学科

2025年3月 新しい練習船を竣工予定

日本近代化・自動化された船舶の運航技術者及び海事関連のさまざまな陸上産業に対応できる人材を育成することを目的とした学科です。2年間の基礎的な勉強を踏まえたうえで、3年次に航海コースと機関コースに分かれます。

○情報機械システム工学科

2025年 4 月 新コース（高度情報工学コース）開設

情報工学を主分野とし、電気電子工学と機械工学を加えた 3 分野について専門的知識及び技術を学びます。

1 年次から地域課題を解決するPBL（Project Based Learning）チームに所属し、机上の学習に留まらず、地域産業や文化を理解し工学的な解決法を提案できる実践的技術者を育成する教育を行います。



鳥羽商船高等専門学校



情報機械システム工学科 **20名定員 増**

高度情報工学コース
定員 **40名**

+

総合工学コース
定員60名

合計定員
100名

定員80名であった情報機械システム工学科を20名増員し、合計定員100名とします。同学科内に新たに「高度情報工学コース(定員40名)」を新設し、従来の学科カリキュラムは「総合工学コース(定員60名)」として継続します。

情報機械システム工学科の特色あるカリキュラム

高度情報工学コース 「デジタル分野に特化し、先端の情報工学を学びます」

デジタルファブリケーション/サイバーセキュリティ
DX概論/GX概論/データサイエンス
UI・UXデザイン/スマート農業・漁業

地域連携PBL
農業・水産業DX
海事海洋DX
観光DX

総合工学コース 「情報を中心に電気電子・機械を広く学びます」

機械工学基礎/機械加工基礎/工業力学/
機械加工実習/古典制御/工作法/機械設計

共通科目

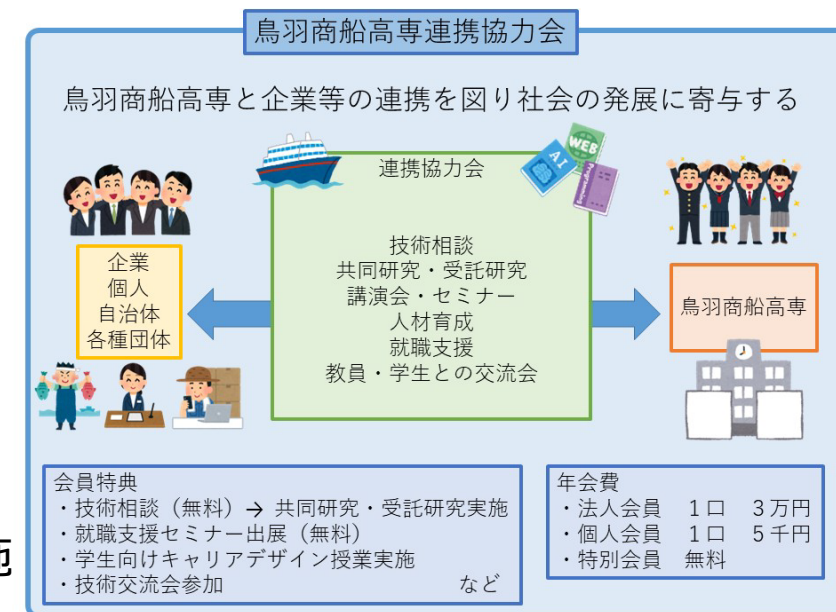
必修科目 プログラミング/情報工学/電気電子工学/電気電子回路
WEBアプリケーション/マイコン工学/計測工学/工学数理基礎

選択科目 AI/ビッグデータ解析/モバイルプログラミング/
センサーネットワーク/回路設計/機能材料/生産工学

鳥羽商船高等専門学校

● 支援リソース・共同研究の実績など

- 公開講座（小中学生中心） R5年度
 - 「船を動かしてみよう」, 「IoTについて学ぼう」等 12講座
- 出前授業（小中学生中心） R5年度
 - R5年度「プログラミングに関する出前授業」等 12講座
- 協定（企業, 自治体）
 - 三重県, 鳥羽市, 伊勢市, 三重県工業研究所, ZTV, 協同海運, 中電シーティーアイ, KDDI等
- 共同研究 R5年度
 - 「製造原価算出に必要な生産実績情報の精度向上」等 8件
- 受託研究 R5年度
 - 「食地政学に基づくグリーンジョブマーケットの醸成共創拠点」等 5件
- 技術相談 R5年度
 - 6件
- 連携協力会（R6/6/21現在）
 - 企業会員92社, 特別会員21団体
 - 学生教員との交流, 就職支援セミナー, キャリアデザイン授業等を実施



三重県雇用経済部新産業振興課の業務

成長産業・ライフイノベーション班

- 成長産業の振興に関すること
- みえメディカルバレー構想の推進に関すること
- みえライフイノベーション総合特区の推進に関すること

ものづくり推進班

- ものづくり産業の振興に関すること
- ものづくり中小企業の技術高度化に関すること
- 産学官の共同研究及び交流に関すること
- 知的財産の活用に関すること

エネルギー政策班

- エネルギー政策の総合的な推進に関すること
- 三重県新エネルギービジョンに関すること
- 電源立地地域対策交付金に関すること
- 石油貯蔵施設立地対策交付金に関すること

工業研究所整備推進班

- 工業研究所整備の推進に関すること

カーボンニュートラル化に向けたEV化への支援

概要

カーボンニュートラル（CN）やEVの普及等、社会経済情勢の変化に対応し、自動車部品関連企業をはじめとする県内ものづくり中小企業の競争力を維持・強化するため、各企業の新分野進出や業態転換、事業再構築及びエネルギー生産性向上等の取組を支援する。

社会情勢
の変化

早急に
対応が必要

EV化による自動車部品点数等の変化

- ・ 欧州、中国等でEV化が拡大
- ・ 内燃機関係部品（エンジン・ミッション・排気等）の需要減
- ・ 電動車部品（蓄電池・燃料電池等）の需要増

サプライチェーン全体でのCO₂排出量削減の動き

- ・ 完成車メーカーが1次サプライヤーに対しCO₂排出量の算定・削減を要請（2次以下にも徐々に波及）
- ・ これらの取組が調達基準になる等、競争が激化

EV化対応

新分野進出・
業態転換等

エネルギー
生産性向上

現場改善

R5

①自動車サプライヤー業態転換等支援事業（モデル支援）

- ・ 業態転換等の伴走型支援
- ・ 困りごとや課題の把握
- ・ 強みを生かした方向性（ポテンシャル）の提案

②自動車部品サプライチェーンにおけるCO₂排出削減支援（実証）

- ・ CO₂排出量算定支援
- ・ 省エネ診断
- ・ 支援事例の他企業への展開（R6.3予定）

③CN人材育成講座

- ・ CO₂排出量削減に向けた具体的手法等（エネルギー使用量見える化・データ分析等）の修得

R6

①CN・EV等に関するセミナー

- ・ 最新動向
- ・ 電動化部品の分解展示
- ・ 技術・イノベーション
- ・ 他分野で求められている技術
- ・ 経営・CN人材育成

②マッチング機会の創出

- ・ アドバイザーによる支援
- ・ 展示会の開催
- ・ 商談機会の提供

③大学・公設試等との技術開発・試作に係る補助金

④工業研究所の取組

- ・ 研究員による技術課題の解決
- ・ 研究開発・技術相談・依頼試験・機器開放等 の支援

⑤自動車部品工業会及び国との連携

- ・ 会員企業の取組事例の紹介
- ・ 「ミカタプロジェクト」の活用

【R6重点】CN・EV化等に係る成長産業推進事業費

予算30,959千円

概要

カーボンニュートラル（CN）やEVの普及等、社会経済情勢の変化に対応し、自動車部品関連企業をはじめとする県内ものづくり中小企業の競争力を維持・強化するため、各企業の新分野進出や業態転換、事業再構築及びエネルギー生産性向上等の取組を支援する。

EV化の影響を受ける企業

EV化への対応

新分野進出

業態転換

事業再構築

① 準備が整っている企業

② EV化への対応の方向性を模索中の企業

③ EV化への対応（新分野進出、業態転換等）の可能性のある企業

④ EV化へ危機感のある企業

※大規模な設備投資は、国の補助金も活用

① 試作補助金

② 商談会・個別相談会・アドバイザーによる助言

②③ 専門家派遣による伴走支援

③④ セミナー（最新動向・技術等）

企業が、新分野進出、業態転換、事業再構築等に積極的に取り組めるよう、**段階に応じた支援**を実施

① 大学・公設試等との技術開発・試作に係る補助金

② マッチング機会の創出（県内企業）
商談会や個別相談会等のマッチング機会を創出

② マッチング機会の創出（広域：県外企業）
商談会や個別相談会等のマッチング機会を創出

②③ 自動車産業ミカタプロジェクト（国）
EV化に向け、業態転換・事業再構築等について専門家派遣等による伴走支援（ミカタプロジェクト三重県サテライト）

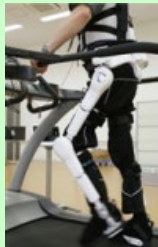
③ CN・EV等に関するセミナー
企業が求めているCNやEV、新分野等に係る最新動向・技術に係るセミナーを開催

みえライフノベーション推進センター（MieLIP）

産学官連携による製品開発プロジェクトの組成、地域内での実証等を通じた製品・サービスのブラッシュアップ、国内外への販路開拓、立地支援等の取組を推進

①MieLIP鈴鹿（鈴鹿医療科学大学）

- 医療機器の開発、介護支援ロボット等の社会実装
- 医薬品、化粧品、機能性食品の開発
- 薬膳や食育による予防医療の推進と薬用植物の栽培技術の研究等



②MieLIP津（三重県工業研究所）

- 医療・福祉機器等開発の技術支援や新規参入支援
- 食の機能性素材の開発、機能性食品の開発等



③MieLIP伊賀（三重大学伊賀研究拠点・伊賀市立上野総合市民病院）

- 医療機関と食品メーカーが連携した食品開発
- 在宅医療システムの開発等



☆MieLIPセントラル（三重大学）



- 統合型医療情報データベースの活用
- 企業等の研究開発支援
- 学内研究者と国内外研究機関・企業等とのコーディネート等

66万人分
超の医療情報
報蓄積

統合型医療情報
データベース



研究開発
コーディネート

④MieLIP多気（多気町役場）

- 医薬品企業と高校生がコラボした化粧品の開発
- 「医食同源」をテーマとした産業振興等



⑤MieLIP鳥羽（鳥羽市役所）

- 海洋資源を活用した化粧品の開発
- 大学等の研究機関と連携した海洋資源の調査等



⑥MieLIP尾鷲（尾鷲市役所）

- 海洋深層水等を活用した製品の開発
- 健康ツーリズムの開発等



三重県工業研究所について

金属研究室

☎ 0594-31-0300

- ・金属材料
- ・鋳造技術

桑名市大字志知字西山208

窯業研究室

☎ 059-331-2381 (四日市市)

☎ 0595-44-1019 (伊賀市)

- ・窯業材料及び製品
- ・窯業製品のデザイン開発
- ・エネルギー技術

四日市市東阿倉川788

伊賀市丸柱474

津市高茶屋5-5-45

食と医薬品研究課

☎ 059-234-8468

- ・食品及び発酵食品
- ・医薬品

電子機械研究課

☎ 059-234-4040

- ・電子・機械・情報関連技術
- ・機械関連技術

ものづくり研究課

☎ 059-234-0406

- ・金属加工等基盤技術
- ・有機・無機材料

エネルギー技術研究課

☎ 059-234-1968

- ・エネルギー技術

プロジェクト研究課

☎ 059-234-0407

- ・企業・支援機関との連携
(共同研究等)

企画調整課

☎ 059-234-4036

- ・企画調整、総務業務



三重県工業研究所の主な業務

技術トラブルで困っている！
開発のアドバイスが欲しい！

技術相談

製品開発、品質管理、試験方法など
電話、メール、面談でご相談ください
補助金申請に向けた技術相談などもOK！

試験データを取りたい！
でも試験機を持ってない！

機器開放

所有する200台以上の
機器をお貸しします

測定とか分析とか
やってもらえるの？

依頼試験

工業研究所に試験をご依頼いただき
その結果を報告します

会社の新人に
技術指導をしたい！

人材育成

技術者のみなさまを対象に
セミナーや出前での講座を
随時開催しています

〇〇を使って〇〇の
試作開発をしたい！
現場の技術トラブルの
対策をとりたい！

技術支援

期間を決め、技術的なアドバイスや
機器利用などで課題を解決します

新しい技術開発を
手伝ってほしい！

共同研究 受託研究

企業の製品開発や課題解決を、
工業研究所がご支援します
産学官連携も推し進めています



岐阜県 商工労働部 産業イノベーション推進課

● Profile

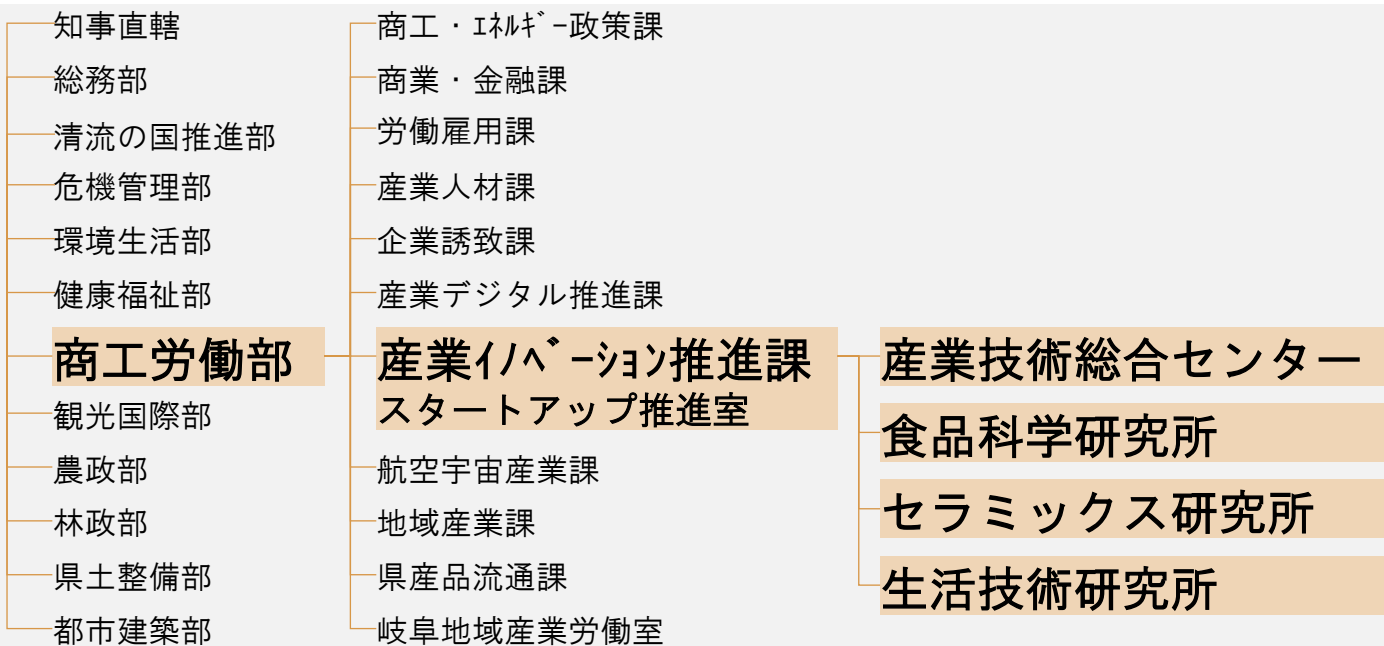
＜住所＞ 〒500-8570 岐阜県岐阜市藪田南2-1-1

＜外観＞

＜特徴＞

- ◆ 技術革新等を通じた県内企業のイノベーション支援、産学官連携の推進、産業人材の育成支援を実施
- ◆ 特に試験研究機関を通じた研究開発、技術支援を強化
- ◆ 成長産業分野（ヘルスケア、次世代自動車）や生産技術向上の支援とともに、スタートアップ創出支援の強化

＜組織図＞



≪岐阜県庁舎 【令和5年1月4日開庁】≫
 新県庁舎は
 「安全で安心な県民の暮らしを守る県庁舎」
 「県民が集い親しまれ、地域の魅力を発信する県庁舎」
 「環境やライフサイクルコストに配慮した県庁舎」
 の3つの基本方針をもとに整備を行い、令和5年1月4日に開庁しました。

岐阜県 商工労働部 産業イノベーション推進課

● 支援リソース、実績など

＜試験研究機関を通じた支援＞ ※カッコ内は実績（R5年度）

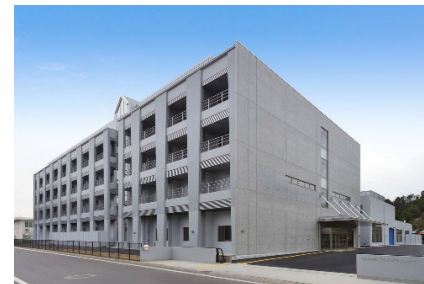
- 技術的な相談対応や企業現場に出向いた技術指導を実施
（技術相談 6,144件、技術指導・緊急課題支援 167件）
- 試験機器を活用した依頼試験や開放機器利用等の支援
（依頼試験 12,599件、開放機器利用 18,876件）
- 県の将来を見据え、戦略的な先行投資的プロジェクトや、産業界のニーズを反映した研究開発等の実施
（研究課題51件、共同・受託研究 41件）
- 製造業全体の技術力と競争力向上を図るため、幅広い分野を対象とした研修から専門研修まで階層的な研修を実施
（研修・講習会 51件）

＜成長産業支援＞

- 医療福祉コーディネーターによる窓口相談のほか、医療現場等とメーカーとのマッチング、新商品の開発、事業化等、企業の活動状況に合わせた各種支援を実施
- 自動車の電動化に対応するため、部材製造企業の電動化対応に向けた戦略・計画策定の伴走支援やワークショップを通じた新技術提案や新分野へ展開を支援

＜産学官連携支援＞

- 大学や試験研究機関等の技術シーズを技術移転・実証するための機器導入や試作等に要する補助事業を実施
（補助事業者数 18者）



産業技術総合センター（関市）
「モノづくり技術」に関する総合的な研究開発・技術支援拠点
【分野】機械、金属、プラスチック、繊維、紙、複合材料、情報、エレクトロニクス
【職員数】73人（うち研究員56人）



食品科学研究所（岐阜市：岐阜大学構内）
「食品分野」に関する総合的な研究開発・技術支援拠点
【分野】食品・発酵食品・機能性食品
【職員数】17人（うち研究員11人）



生活技術研究所（高山市）
地域産業の支援拠点
【分野】木工、福祉、人間工学
【職員数】15人（うち研究員10人）



セラミックス研究所（多治見市）
地域産業の支援拠点
【分野】陶磁器、ファインセラミックス
【職員数】19人（うち研究員13人）

＜スタートアップ支援＞

- 産学官によるぎふスタートアップ支援コンソーシアムを設置し、スタートアップに関するネットワークの形成や、スタートアップの育成等に関する事業を実施
- 岐阜県内でスタートアップの成長につながる関連イベント開催を支援
（補助事業者数 4者）

三重県工業研究所

● Profile

<住所>

三重県津市高茶屋5-5-45 ※他3拠点あり

■ 企業が抱える技術課題解決のための技術的支援

■ 職員数66名（うち研究員48名）

<組織>

工業研究所（津市）

企画調整課

☎ 059-234-4036

・企画調整、総務業務

エネルギー技術研究課

☎ 059-234-1968

・エネルギー技術

ものづくり研究課

☎ 059-234-0406

・金属加工等基盤技術
・有機、無機材料

プロジェクト研究課

☎ 059-234-0407

・企業や支援機関との連携
（共同研究等）

電子機械研究課

☎ 059-234-4040

・電子、情報関連技術
・機械関連技術

食と医薬品研究課

☎ 059-234-8468

・食品及び発酵食品
・医薬品

金属研究室（桑名市）

☎ 0594-31-0300

・金属材料
・鋳造技術

窯業研究室（四日市市）

☎ 059-331-2381

・窯業材料及び製品デザイン
・エネルギー技術

窯業研究室伊賀分室（伊賀市）

☎ 0595-44-1019

・陶磁器の原材料及び伊賀焼製品

<外観>



窯業研究室
（四日市市）



金属研究室
（桑名市）



窯業研究室伊賀分室
（伊賀市）



工業研究所
（津市）

「地域を支えるものづくりパートナー」

※令和6年3月策定

「三重県工業研究所の機能強化・施設整備にかかる基本構想」より



ホームページ

三重県工業研究所

● 支援リソース、実績など

➤ 技術相談（無料） 令和5年度 5,541件

- ✓ 製品開発、品質管理や試験方法など電話、メールや面談で相談できます ※オンライン会議対応も可

➤ 機器開放（有料） 令和5年度 2,079件

三重県工業研究所 機器 [検索](#)

- ✓ 電子顕微鏡、分析試験機やX線CTシステムなど200台以上の機器を利用できます

➤ 依頼試験（有料） 令和5年度 8,491件

- ✓ 強度試験、成分分析や精密測定などを実施し、報告書を発行します

➤ 人材育成（無料、一部有料） 令和5年度 522名

- ✓ 生産技術や品質管理などの講座を開催しています

➤ 技術支援（原則無料） 令和5年度 64件

- ✓ 職員が一定期間にわたり技術的な助言や保有機器等を用いて課題解決の支援します

➤ 共同研究・受託研究（有料、一部企業負担なし） 令和5年度 18件

- ✓ 職員の知見や保有設備を活用して共同研究や受託研究を実施しています



機器DB

[一覧に戻る](#)

GiTeC 岐阜県産業技術総合センター

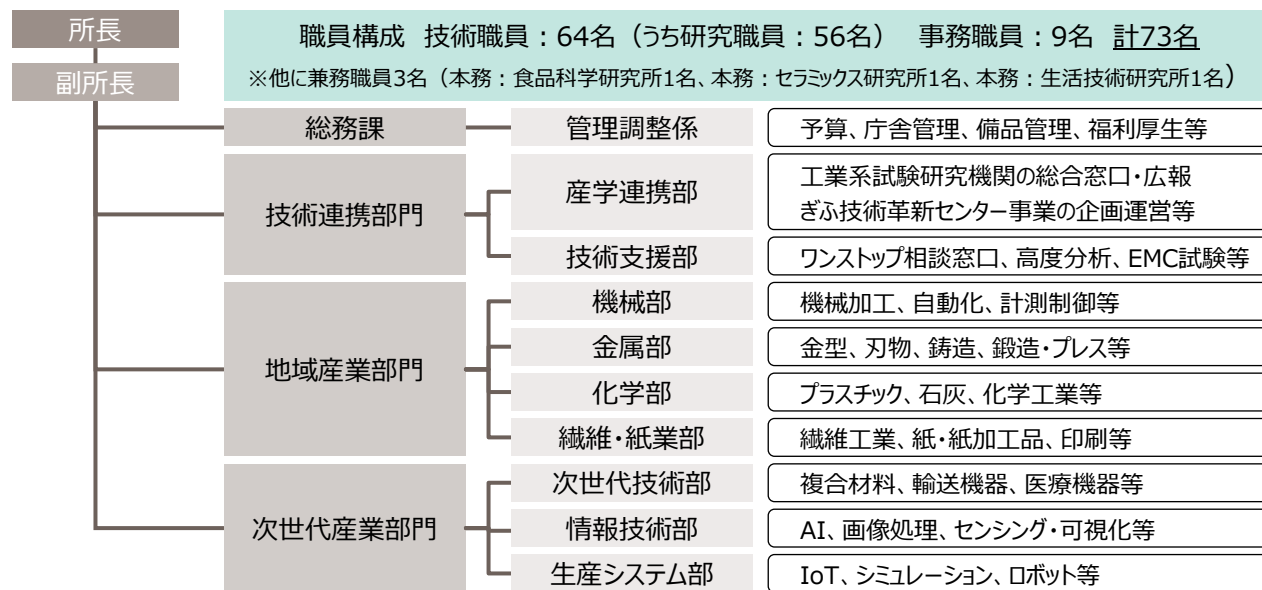
● Profile

<住所> 〒501-3265 岐阜県関市小瀬1288番地

<HP> <https://www.gittec.rd.pref.gifu.lg.jp/>

<特徴> ◆『モノづくり技術』に関する総合的な研究開発・技術支援の拠点として、令和元年6月に開所

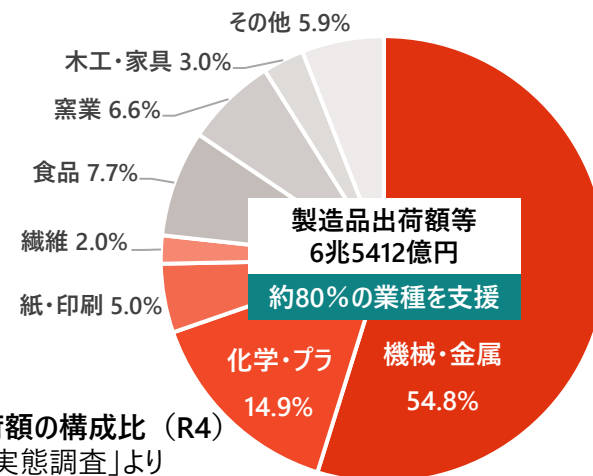
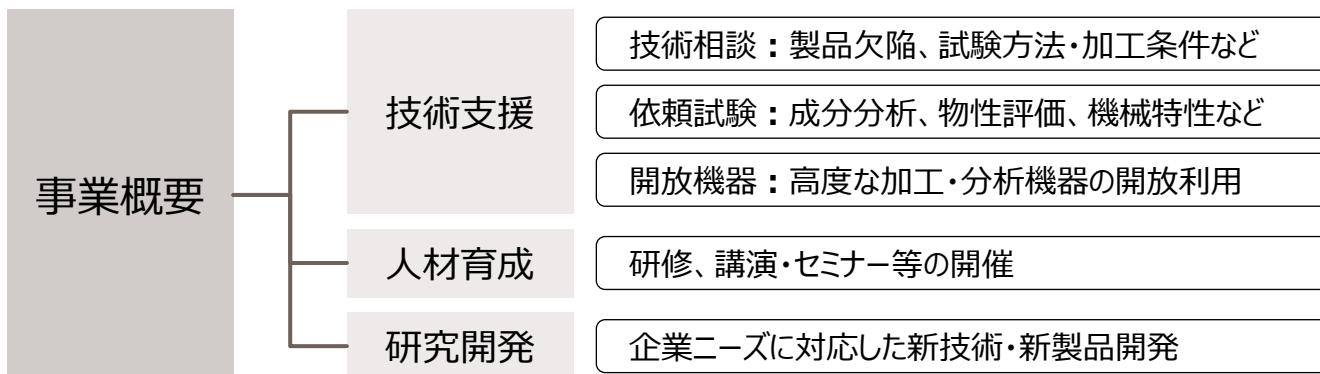
◆技術支援・人材育成。研究開発を実施



ワンストップ相談窓口（技術職員が直接、各種の技術相談に対応します!!）
専用電話 ☎ 0575-29-7151 ✉ soudan@gitec.rd.pref.gifu.jp



● 支援リソース、実績など



主な業種別の製造品出荷額の構成比（R4）
「2023年経済構造実態調査」より

< 技術支援（令和5年度実績） >

- **【技術相談】（3,279件）**
面談、メール等による相談対応（製品欠陥、試作開発 等）
- **【依頼試験】（6,625件）**
化学分析、顕微鏡観察、機械的特性、形状測定、刃物の切れ味、プラスチック・石灰・繊維・紙の品質試験、EMC試験、電気特性など
- **【開放機器利用】（17,629件）**
加工機・工作機械（ウォータージェット、高分子・繊維・紙加工など）
機械的特性試験機（万能材料・疲労試験機、高分子・繊維・紙特性など）
分析評価機器（EMC試験、マイクロX線CT、電子顕微鏡、FT-IRなど）

< 人材育成（令和6年度） >

- **【次世代企業技術者育成事業】24 課程**
《基盤技術研修》6 課程 品質管理、生産管理、データサイエンスなど
《専門技術研修》7 課程 機械・金属、プラスチック成形、繊維など
《分野横断応用研修》11 課程 EMC、X線CT、分析機器、CAEなど
- **【各種講演会・セミナー】12 回**
- **【研修生受け入れ・出前講座】 随時受け入れ**

< 研究開発（令和6年度） >

- **【研究課題】39課題**（Go-tech事業等の外部資金を含む）

2024年11月時点



独立行政法人工業所有権情報・研修館

～ 知財経営支援の中核機関として ～

2024（令和6）年8月



独立行政法人 工業所有権情報・研修館 [INPIT]
National Center for Industrial Property Information and Training



- 1 INPITのプロフィール
- 2 INPITのミッション・ビジョン・バリュー
- 3 INPITの提供する事業について
- 4 INPITの相談窓口、専門の支援窓口
- 5 INPIT知財総合支援窓口におけるサービス
- 5－2 INPIT知財総合支援窓口におけるサービス（加速的支援）
- 5－3 東海地域の窓口
- 6 知財戦略エキスパート
- 7 シーズから事業化までのシームレスな支援体制
- 8 公募型の知財支援事業（iAca、iNat、IPAS）
- 9 IPランドスケープ支援事業
- 10 グローバル知財戦略フォーラム2024
- 11 J-PlatPatとは
- 12 J-PlatPatを使うメリット、コンテンツの提供

1 INPITのプロフィール



【名称】 独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）
National Center for Industrial Property Information and Training

【設立】 平成13年（2001年）4月1日

【予算】 116億円（2024年度予定）

【役職員数】 107名（役員4名（非常勤2名含む）職員103名）
（2024年4月現在）

※ INPITは、経済産業省所管の独立行政法人です。

【所在地】

■ 本部事務所：東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー8F

○海外展開知財支援窓口 ○営業秘密支援窓口

○アカデミア知財支援窓口 ○スタートアップ知財支援窓口

【総務部、研修部、知財人材部、知財情報基盤センター（情報システム部、知財情報部）、知財活用支援センター（地域支援部、知財戦略部）】

■ 特許庁分室：東京都千代田区霞が関3-4-3 特許庁庁舎1F・2F

○公報閲覧室 ○産業財産権相談窓口

【公報閲覧・相談部】

■ 虎の門分室：東京都千代田区霞が関3-8-1 虎ノ門ダイビルイースト2F・7F

○一般研修教室 ○VDT研修教室

（旧名称：虎の門三井ビルディング）

■ 近畿統括本部：大阪府大阪市北区大深町3-1

グランフロント大阪ナレッジキャピタルタワーC9F

○関西知財戦略支援専門窓口 【事業推進部】



2 INPITのミッション・ビジョン・バリュー



ミッション

「知」を芽吹かせ、共に価値にする

知という「財産」(アイデア・技術・デザイン・ブランドなど)を見つけ、共に考え、行動することで、経済的・社会的な価値に繋がります。

ビジョン

知財を身近に、社会を豊かに

生活や経営のそばに知財があり、人々が今よりもっと面白く、賢く、豊かに暮らせる社会を目指します。

知財の輪をつなぐ要に

知財経営支援の中核機関として、情報を届け、多様な人材を育て、結びつけ、ネットワークを築きます。

バリュー

公正、誠実、情熱

独立行政法人として、公正な立場で、誠実に、情熱を持って業務に取り組めます。

挑戦と成長

現状に満足せず、新たな課題解決にチャレンジし、成功からも失敗からも学び、職員及び組織全体が日々成長し続けます。

チームで生み出す成果と信頼

部署間での連携や他の支援機関との連携をスピード感をもって進め、最適なサービスの提供により、信頼される存在となります。

3 INPITの提供する事業について



第六期中期計画と照らし合わせて

1. 知財のエコシステムを支える 知財課題発掘

- ・ 知財総合支援窓口の設置
- ・ 知財戦略エキスパートの設置
- ・ 地域の関係機関と連携した支援
- ・ 伴走支援と知財経営成功事例の創出
- ・ 大学等の研究開発成果の社会実装に向けた知財戦略策定等の支援

3. 知財エコシステムを支える人材 育成

- ・ 知財人材育成教材 (IP ePlat)
- ・ ケーススタディ教材の開発・普及事業
- ・ パテントコンテスト・デザインパテントコンテストの実施
- ・ 知財学習支援
- ・ セミナーの開催

2. 産業財産権情報インフラの整備 とその利活用

- ・ 特許情報プラットフォーム (J-PlatPat)、画像意匠公報検索支援ツール (Graphic Image Park)、新興国等知財情報データベース、開放特許情報データベースの運用
- ・ IPランドスケープ事業
- ・ フォーラムの開催

4. 世界最速・最高品質審査を始め とする特許行政への貢献

- ・ 特許庁職員に対する研修
- ・ 調査業務実施者の育成研修
- ・ 審査・審判関係資料の収集、閲覧サービスの提供及び電子データの整備等

4 INPITの相談窓口、専門の支援窓口



産業財産権相談窓口

特許庁への手続に関する**対面相談(特許庁1階)**のほか、**電話やWEBフォームでも相談**できます。よくある質問は、知的財産相談・支援ポータルサイト(FAQ)で解決します。

INPIT知財総合支援窓口

中小企業等が抱える様々な**経営課題**について、「**知的財産**」の側面から**解決**を図ります。
47都道府県に設置しており、地域に根付いた支援を行っています。

海外展開知財支援窓口

海外展開を目指す中小企業等の**知財リスク**に対応策を。

営業秘密支援窓口

企業の命である技術やノウハウ。管理は適切にできていますか？

スタートアップ知財支援窓口

御社のビジネスが**パクられたら**どうしますか？

アカデミア知財支援窓口

大学発スタートアップを創業したい！

関西知財戦略支援専門窓口

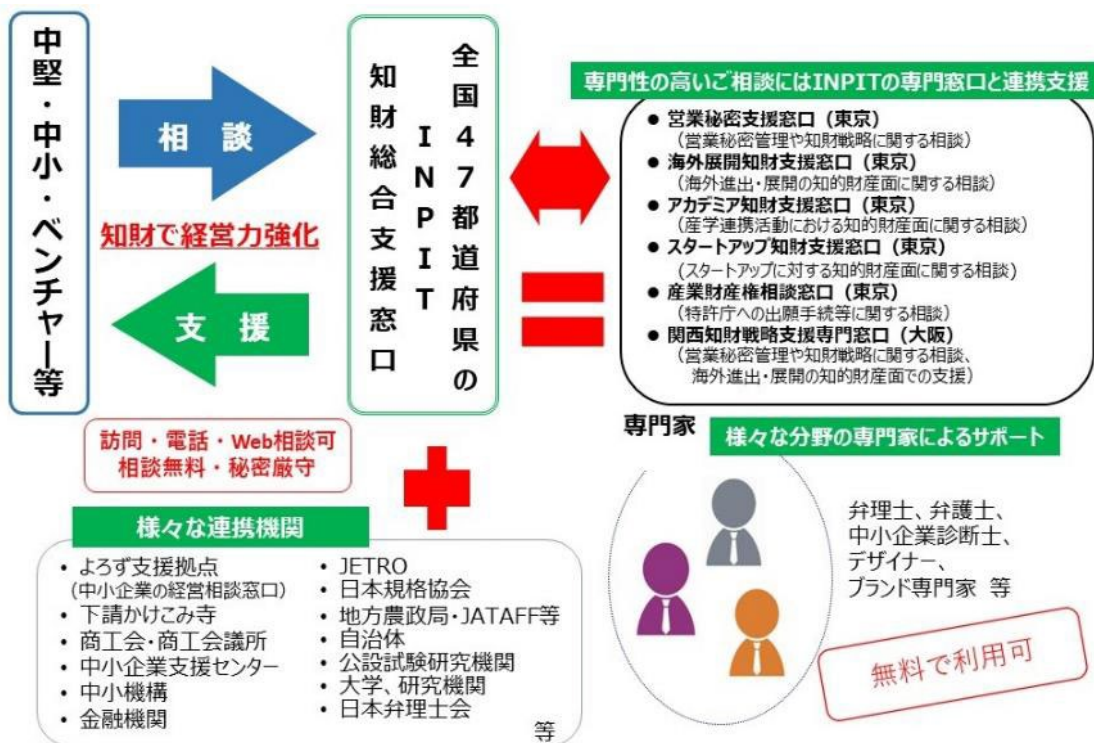
近畿地域の企業の海外展開におけるビジネス・知財総合戦略や営業秘密の管理体制構築等に関する支援要請にお応えします。



「**知財戦略エキスパート**」が
対面、Web会議、メール又は
電話にて**無料**でアドバイス
します。

5 INPIT知財総合支援窓口におけるサービス

- 中小企業等が抱える様々な経営課題について、自社のアイデア、技術、ブランド、デザインなどの「知的財産」の側面から解決を図る地域に根付いた支援を行う窓口として、「INPIT知財総合支援窓口」を、47都道府県に設置しています。
- 経験豊富な支援担当者が弁理士や弁護士などの専門家や関係支援機関と連携しつつ、経営課題の解決に向けて効率的・網羅的な支援を無料で提供しております。



中小企業支援機関等との連携

●地域の商工会議所、商工会、よろず支援拠点、中小企業支援センター等の支援機関や自治体、金融機関等との連携を図ることで、幅広くきめ細やかな支援の提供を実現しています。

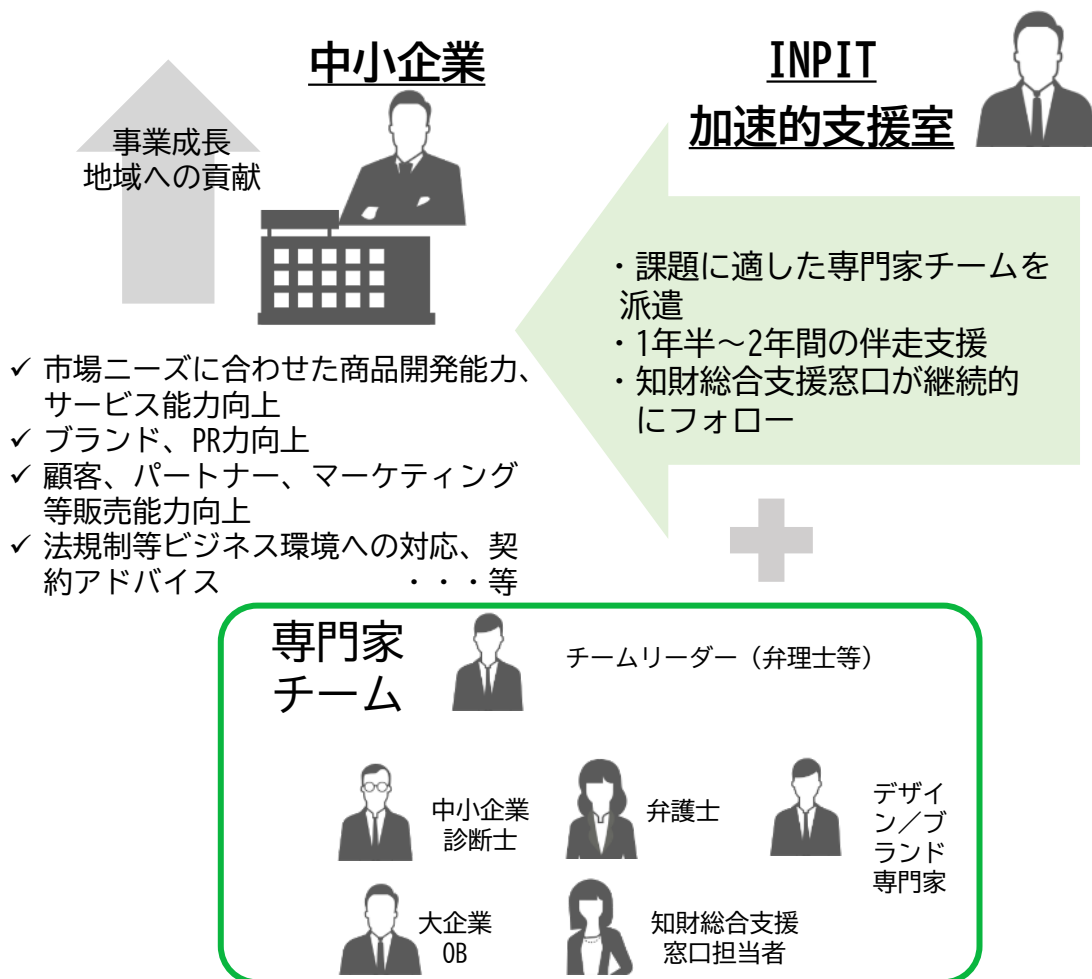
知財等専門家によるサポート

●相談者の課題の内容に応じて、弁理士、弁護士、中小企業診断士、デザイン専門家、ブランド専門家等によるサポートを実施しています。

5-2 INPIT知財総合支援窓口におけるサービス（加速的支援）



知的資産を活用した事業成長が見込まれる中小企業に対して、INPITから専門家チームを派遣、伴走支援を行うことで、支援先企業の組織の能力（ケイパビリティ）を高め、事業成長を実現します。



チームリーダー及びメンバーは、案件に応じてケースバイケース

支援対象

【①知的資産の保有状況】

独自性のあるアイデア・技術・サービス・地域資源など、**経営成長につながる知的資産**を保有している。

【②ビジョン・将来性】

経営者が知的資産を活用した**事業成長に対する方向性やビジョン**を有している。

【③経営者の人柄・関与】

経営者に**熱意・リーダーシップ**があり、支援を受けるに当たって**積極的に対応・行動**できる。

【④社内体制】

支援を受け入れる**社内環境、組織的体力**が望める。

【⑤安全性】

支援の実施にあたり、**重要な企業経営上のリスク**がない。

5-3 INPIT知財総合支援窓口における東海地域窓口



窓口	住所	連絡先	リンク
愛知県知財総合支援窓口	愛知県名古屋市千種区千種通7-25-1サンライズ千種6F	052-753-7635	https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/aichi/
岐阜県知財総合支援窓口	岐阜県各務原市テクノプラザ1-1テクノプラザ5F	058-325-8098	https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/gifu/
三重県知財総合支援窓口	三重県津市栄町1-891三重県合同ビル5F	059-253-8310	https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/mie/

愛知
窓口



岐阜
窓口



三重
窓口



全国
窓口



6 知財戦略エキスパート

- 知財戦略に関する高度な専門知識、経験を有する**知財戦略エキスパート**が支援する5つの専門窓口を設置（**相談無料**）
- 知財総合支援窓口や採択型支援、各支援機関とも連携して、円滑に支援を提供
- 採択型支援の支援前後も、知財戦略エキスパートが課題解決をサポート

知財戦略エキスパート



海外展開



営業秘密



産学連携



スタート
アップ

- 海外展開知財支援窓口
- 営業秘密支援窓口
- スタートアップ知財支援窓口
- アカデミア知財支援窓口
- 関西知財戦略支援専門窓口



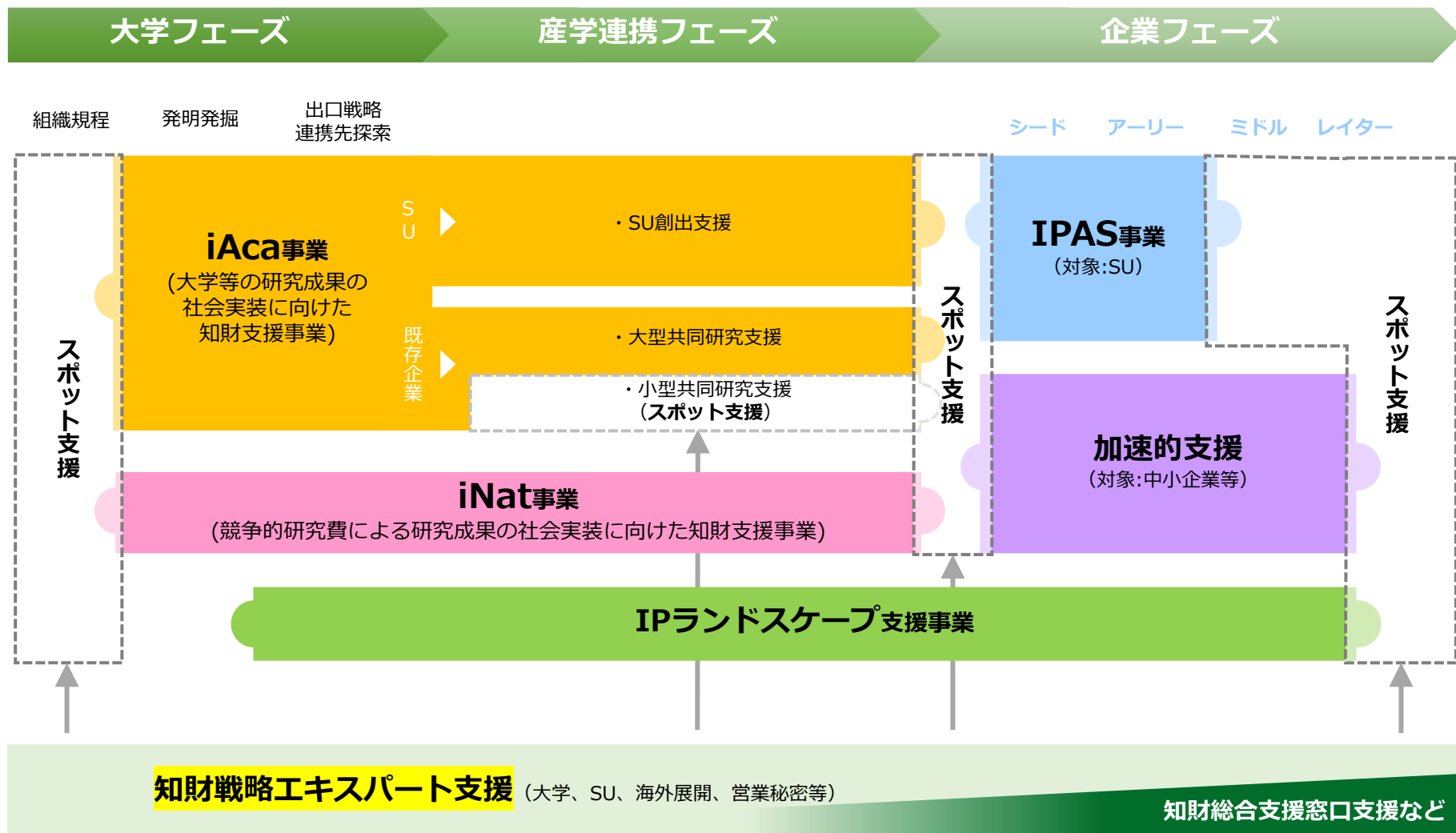
知財総合支援窓口



採択型支援

iAca、iNat、IPAS、IPL

7 シーズから事業化までのシームレスな支援体制



8 公募型の知財支援事業（iAca、iNat、IPAS）



- 知財マネジメントの専門家である知財戦略プロデューサーを、採択先に派遣して知財支援を行う事業。
- 産学連携活動を推進する大学等向けのiAca事業、国プロ（※）を推進する機関等やファンディングエージェンシー（FA）向けのiNat事業、スタートアップ向けのIPAS事業の3事業を実施。

※競争的研究費制度に基づく公的資金が投入され、革新的な成果が期待される研究開発プロジェクト

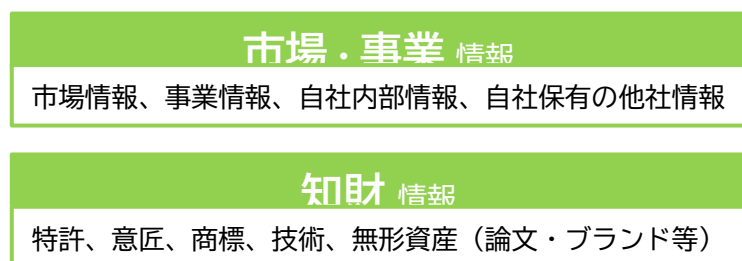


事業名	対象	支援期間	概要
iAca	大学、 高専、 国研	10か月間に 最大30日	✓ 研究ステージ初期段階のシーズ発掘と出口戦略の策定支援から、事業化に向けた産学連携活動まで一連の支援を実施 ✓ 支援は継続可能（要審査） ✓ 継続する場合、間を空けずに支援を受けることが可能に
iNat (国プロ)	大学、FA、 研究開発 機関等	1年間に 最大90日	✓ 国プロのプロジェクト初期より、知財の視点から研究開発成果の社会実装を見据えた戦略策定や、社会実装を加速する活動を支援 ✓ 支援は継続可能（要審査） ✓ 支援年数上限を撤廃。長期間におよぶプロジェクトも支援可能に
IPAS	創業期 スタート アップ	5か月間に 10回 (1回2h)	✓ ビジネスと知財の専門家チームが、適切なビジネスモデルの構築とビジネス戦略に連動した知財戦略の構築を支援 ✓ 令和6年度から採択回数が年2回に増加し、より申請しやすく

9 IPランドスケープ支援事業



- 中小企業等が抱える経営や事業の課題に対し、「市場」や「事業」の情報に「知財」の情報を合わせた分析を行い、強みを活かした解決策を提案する支援
- 令和6-7年度は、2年で200件程度を支援予定



専門家

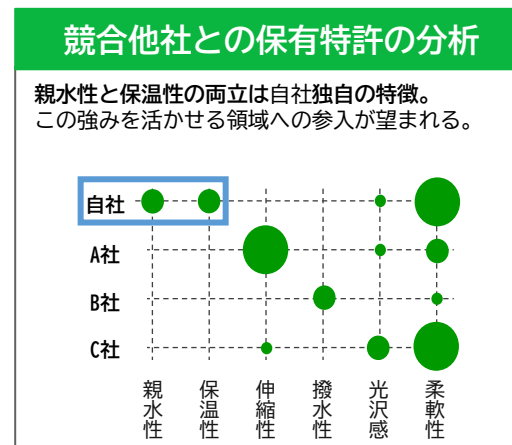
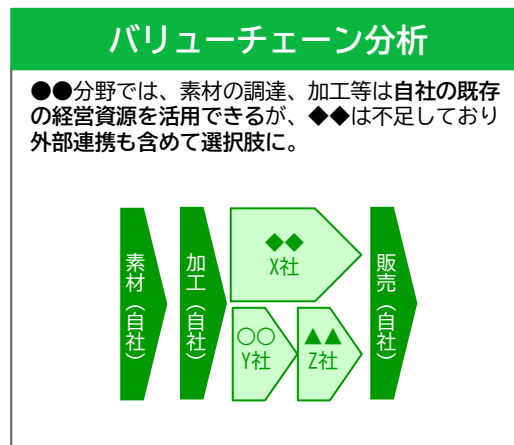
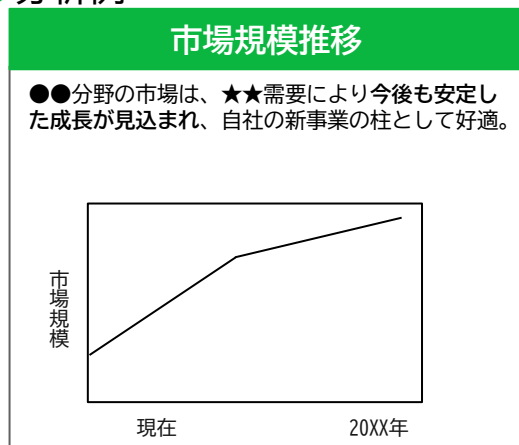
分析・報告・提案

中小企業等



経営・事業の具体的な課題を
解決するための戦略策定

● 分析例



● 中小企業向け IPランドスケープマニュアル（令和5年度作成）
限られたリソースでもIPランドスケープで成果を出せるノウハウが満載です



INPIT
HPをチェック

- 特許庁と共催して、「**グローバル知財戦略フォーラム**」を開催。
知財活用に関する情報発信と、ビジネス戦略を踏まえた知財戦略に対する認識を深めることを目的として2015年から毎年開催。
- 2024年も産業界等から有識者を登壇者として招へいし、
会場とライブ配信を併用したハイブリッドで開催。
約1,600名の参加者を得て、4年ぶりとなる交流会も開催した。

グローバル知財戦略フォーラム2024



【プログラム】

<基調講演>

- 「知財は戦略のど真ん中」への挑戦
～リスクミニマム、そしてチャンスマキシマムへ～
- 知財・無形資産の開示への評価と期待

<パネルディスカッション>

- 特許情報を活用した環境課題への取組の評価について
～GXTIの活用～
- IPLを実践するための人材育成と社内体制構築
- イノベーションで世界を変える！スタートアップの挑戦
と知財戦略

<ランチセッション>

- 海外進出先での強い味方！
海外における日系企業情報交換グループ(IPG)の活動

1 1 J-PlatPatとは



J-PlatPat（特許情報プラットフォーム）は、**国内外の特許・実用新案、意匠、商標※**の**情報**（産業財産権情報）を、**無料で閲覧・検索**できるサービスです。

キーワード（会社名・技術用語・ネーミング等）での検索や、分類を用いた検索など、レベルや目的に応じた**様々な検索が可能**で、**出願の審査状況なども確認**できます。

企業の知財関係部署や研究・開発部署、大学など、多くの方に利用されています。

（J-PlatPatトップページ）

The screenshot shows the J-PlatPat homepage. At the top, there is a header with the J-PlatPat logo, contact information (helpline 03-3588-2751, email helpdesk@j-platpat.inpit.go.jp), and links for English, Site Map, and Help. Below the header is a navigation bar with tabs for Patents, Utility Models, Designs, and Trademarks. A red banner indicates 4 important notices. The main content area features a search bar with a magnifying glass icon and the text '簡易検索' (Simple Search). Below the search bar, there is a brief explanation of the service and a section for search filters. The filters include radio buttons for 'All' (selected), 'Patents/Utility Models', 'Designs', and 'Trademarks'. There are also checkboxes for 'Automatic Scrolling' and a help icon. A search input field contains the example text '例1)人工知能 例2)2019-00012X'. A blue '検索' (Search) button is located to the right of the input field.

（J-PlatPat
へリンク）



1 2 J-PlatPatを使うメリット、コンテンツの提供



【J-PlatPatを使うメリット】

- 産業財産権情報には、最先端技術・他社の技術開発状況など有用な情報が含まれており、これらを活用することで、**他社との重複研究を避ける**ことができ、また、**研究開発や事業展開のヒントを得る**ことができます。
- 新たに製造・販売しようとする商品に含まれる技術・デザイン・ネーミングが他社の産業財産権を侵害していないかどうかを確認することで、製造・販売後に**権利侵害で訴えられるリスクを回避**できます。
- 特許庁への出願前に産業財産権の調査を行うことで、審査において拒絶される出願を控え、**無駄な出願費用を削減**できます。

【コンテンツの提供】

(操作説明動画一覧)

J-PlatPatの操作方法や活用方法に関する以下のコンテンツを提供しています。

- 操作マニュアル・パンフレットの提供
- オンライン講習会を定期開催（無料）
- 操作方法、活用方法に関する動画の提供
- 企業・団体を訪問し、発展的な内容を説明する個別説明会を実施（無料）



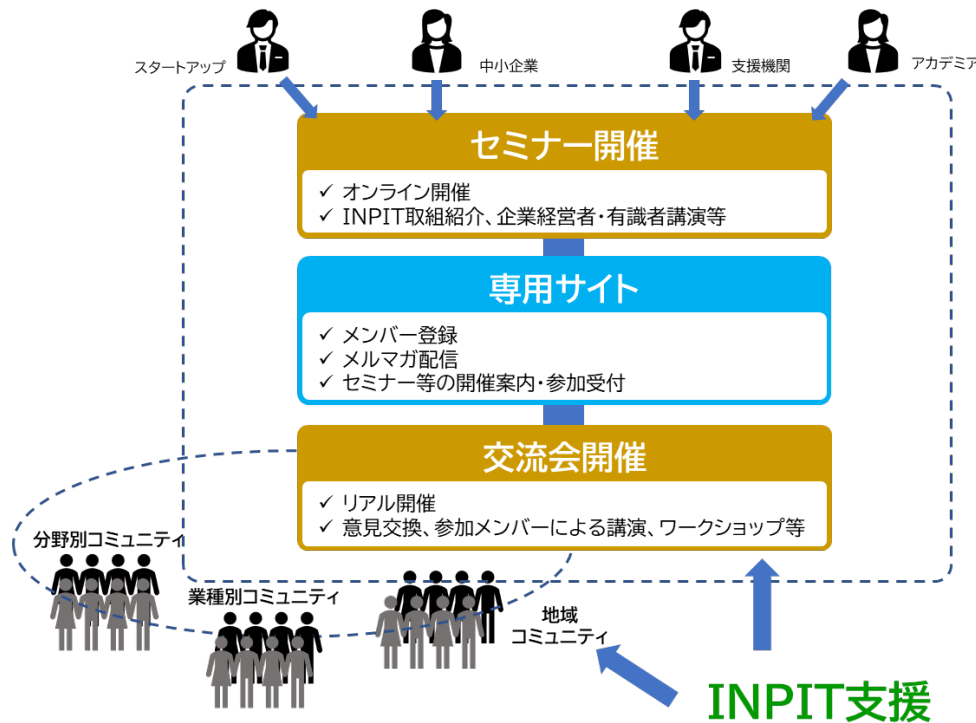
(企業・団体向け個別説明会)



以下參考資料

目的：知財経営支援を担う中核機関として、知財エコシステムの形成に寄与

- | | | |
|-----------------------------|---|-------------------|
| 1. INPITや知財に関する 情報発信 | ➤ | 認知・理解の向上 |
| 2. 参加メンバーの 交流促進 | ➤ | 人材ネットワーク、コミュニティ形成 |
| 3. 迅速かつ総合的な 支援提供 | ➤ | 支援の裾野拡大 |



1 情報発信

定期的な**オンラインセミナー**開催やメルマガ配信を通じて、INPITを周知。

2 交流促進

中小企業、スタートアップ、支援機関等が対面で情報交換できる機会（場）を提供。するため、定期的に**交流会**を開催。INPITがハブとなり**コミュニティを形成**。

3 支援提供

参加者に**INPIT支援を提供**。参加者から各**コミュニティに波及**させ支援の裾野を拡大。

Graphic Image Park (通称：GrIP) とは



パソコンやスマートフォンのディスプレイに表示される画像・アイコンなどは、「画像を含む意匠（画像意匠）」として意匠登録することができます。

Graphic Image Park (通称：GrIP) は、意匠登録された**画像意匠を無料で調査**できるサービスです。

企業の知財関係部署の他、デザイナーやエンジニアの方にも利用されています。

【利用方法】

1. 調査したい画像ファイルをサイト内の四角枠内にドラッグ＆ドロップするだけで、蓄積されている画像が似ている順に並び替えられる
2. 意匠分類などの専門知識がなくても簡単に調査可能

(GrIPトップページ)

(GrIPへリンク)



新興国等知財情報データベース

海外で**知財トラブル**に巻き込まれないために！
海外企業との**交渉や契約**での留意点を知るために！
新興国での**知財・ビジネス環境**を調べるために！

新興国等知財情報 データベース

新興国の知財情報を幅広く提供しています



現在、**約80**の国・地域の記事を**3,500件以上**公開。アクセス数は**年900万件**超。
アクセス数上位は**中国、韓国、台湾**で全体の**約4割**。記事数上位も同じ**3国・地域**で全体の**約3割**。

開放特許情報データベース

企業、大学、研究機関等が実施許諾または権利譲渡の意思のある
開放特許 の情報 **約18,500件** を収録したデータベース！

IP ePlat ってどんなサービス？

IP ePlatは、知財制度の実務や特許庁の審査・審判などの知見・ノウハウを、インターネットでいつでもどこでも学べる、**無料のeラーニング**教材です。

基礎から実践まで**100以上のコンテンツ**を提供、今後も充実化を図ります。
研修の修了を確認できる機能もありますので、**社内研修にも活用**されています。

【～ 利用者の声 ～】 ※アンケートから

- ✓ とても**分かりやすい講義の無料提供**に感謝
- ✓ 受講者目線で**講義スピードを変えられる**のがたいへん良い
- ✓ 特許について詳しくない**初心者にもとても分かりやすい内容**
(知財制度の概要／初心者向け説明会)



初めての方これからの方・若年層向け
ビジネスプランを磨き上げるための知的財産の基礎知識 本編

マネされたら、あなたの気持ちは？

何度か試していたら、すごく飛ぶ紙飛行機が出来た。

今度は、そのアイデア、ほくも使わせてよ。

おこる ふつつ うれしい

かっさにマネしよう

マネして作っていい？

これ、すごいアイデアだね！ほくも同じものを作ってみよう

こんな、くふうを加えてみたよ

マネしてはいけない ではなく・・・
人のアイデアを大切に。 リスペクトの元に許諾を得てWIN-WINへ

©2014-2023 YAMAGUCHI UNIVERSITY All rights reserved. 71

資料集 一覧に戻る 次の章へ

知財活用事例の提供、各種研修の実施も！

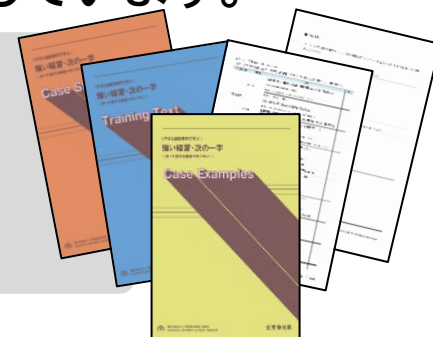


知財マネジメント人材育成教材普及事業

中小、スタートアップ企業の経営者等に**知財の重要性を訴求**するとともに、**知財人材育成への利活用**を促すため、知財がビジネスにおいて重要な役割を果たした**実際の事例**に基づいた**知財マネジメント人材育成教材**を提供しています。WEBサイトからの提供に加え、教材を活用した**ケーススタディセミナーも実施**しています。

【～ 利用者の声 ～】 ※セミナー受講者アンケートから

- ✓ 「知財ありき」ではなく「ビジネスありき」が徹底されており、大変**革新的**な取り組みだと思った
- ✓ 実務に即する内容で、実際の**業務にすぐに役立つ**濃い内容でした



知財人材育成研修の実施

有料

免

中小企業等の方は受講料全額免除あり

中小企業等の**知財担当者向けの研修**や、**特許庁の審査官の知識やノウハウを提供する研修**を実施しています。

- ・ 知的財産権研修 [初級]
- ・ 特許情報活用研修 [初級]
- ・ 特許調査研修
- ・ 意匠調査研修
- ・ 商標調査研修 など

免

「明日の産業人材」を育てます！

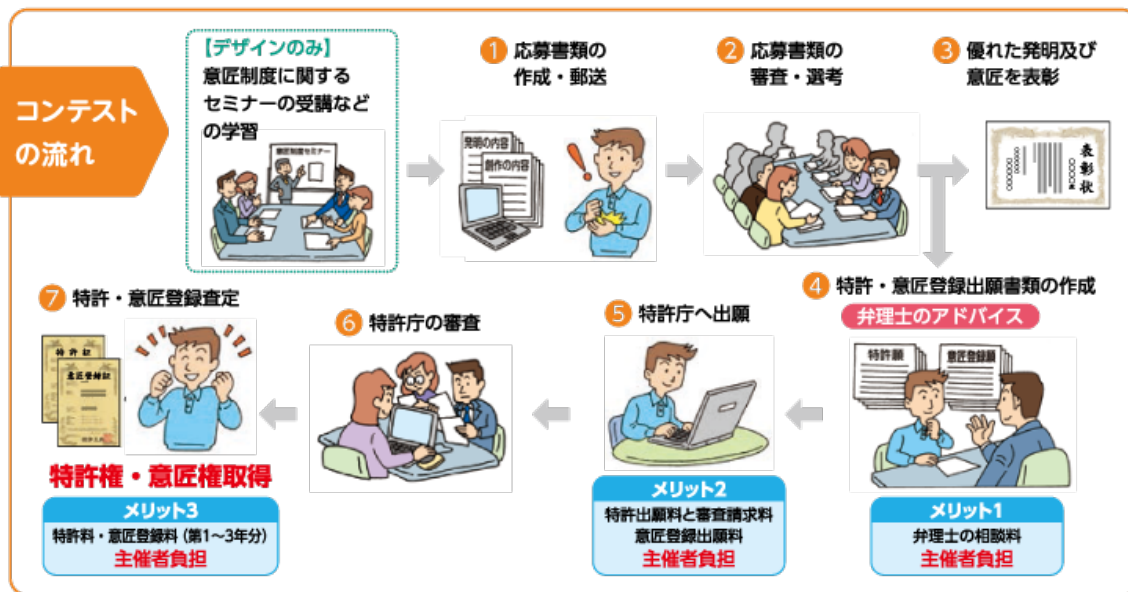
パテントコンテスト・デザインパテントコンテスト

学生（高校生、高等専門学校生、大学生、専修学校生及び大学校生）を対象に**発明とデザインのコンテスト**を行っています。

主催：文部科学省、特許庁、
日本弁理士会、INPIT

後援：WIPO（世界知的所有権機関）

優秀賞に選ばれた作品は無料で、
弁理士の指導などの出願支援を
受け**特許庁に出願**できます。



知財力開発校支援事業

専門高校及び高等専門学校の知財マインドの向上を目的に、
特色ある**知財学習の取組み**を**情報提供**や**活動経費等**を通じて**支援**しています。
参加校の取組みを掲載した報告書は、WEBサイトからご覧になれます。

INPIT **近畿統括本部**が提供する支援サービス
「INPIT-KANSAI」は、**関西地域企業のビジネス成長と海外展開を支援**します！

関西知財戦略支援専門窓口

◆ 知財戦略エキスパートがお手伝いします！

- ・知財を活かして、**ビジネスで稼ぐための戦略づくりと具体的な取組み**をサポートします。
- ・海外展開における知財活用と知財リスク低減等をサポートします。

【こんなときに！】 ✓ **海外との契約交渉**を始めたい ✓ **模倣対策**を考えたい ✓ **情報管理**ができていない
✓ 展示会の出展や**海外向けWEBサイト**作成を検討中 ✓ **共同開発**を始めたい

出張面接室・オンライン面接 ／ 高度検索用端末利用室

◆ 知的財産の権利化、活用に関与する審査の機会と知財情報を提供します！

- ・特許庁の審査官による**出張面接、オンライン面接**を受付・実施しています。
- ・審査官用とほぼ同等の機能を持つ端末を設置し、**高度な検索サービスを提供**しています。
随時、端末の操作・検索方法のサポートを実施するとともに、定期的に利用者講習会を開催しています。



セミナーでの講演も承ります！

- 地域の特性に応じた知的財産に関する情報提供と中小企業やスタートアップの経営における知的財産の活用事例を紹介する「**関西ビジネス知財フォーラム**」を開催。（2023年12月19日）
- 毎年、地域の関係機関や企業のニーズを踏まえ、知的財産の活用を通して企業の事業成長のきっかけとなるような情報提供を行っている。知財担当者だけでなく、**地域の自治体、商工会・商工会議所、金融機関及び支援機関等の担当者など**様々な関係者が参加している。

<フォーラムの様子>



[プログラム]

<基調講演>

- 成長企業の価値創出

<トークセッション>

- スケールアップを目指す中小企業と知的財産活動の貢献

<ピッチイベント>

- 関西・共創の森支援企業等によるショートピッチ

<ネットワーキング>

- フォーラム参加者、登壇者・企業及びショートピッチ参加企業によるネットワーキングを実施。

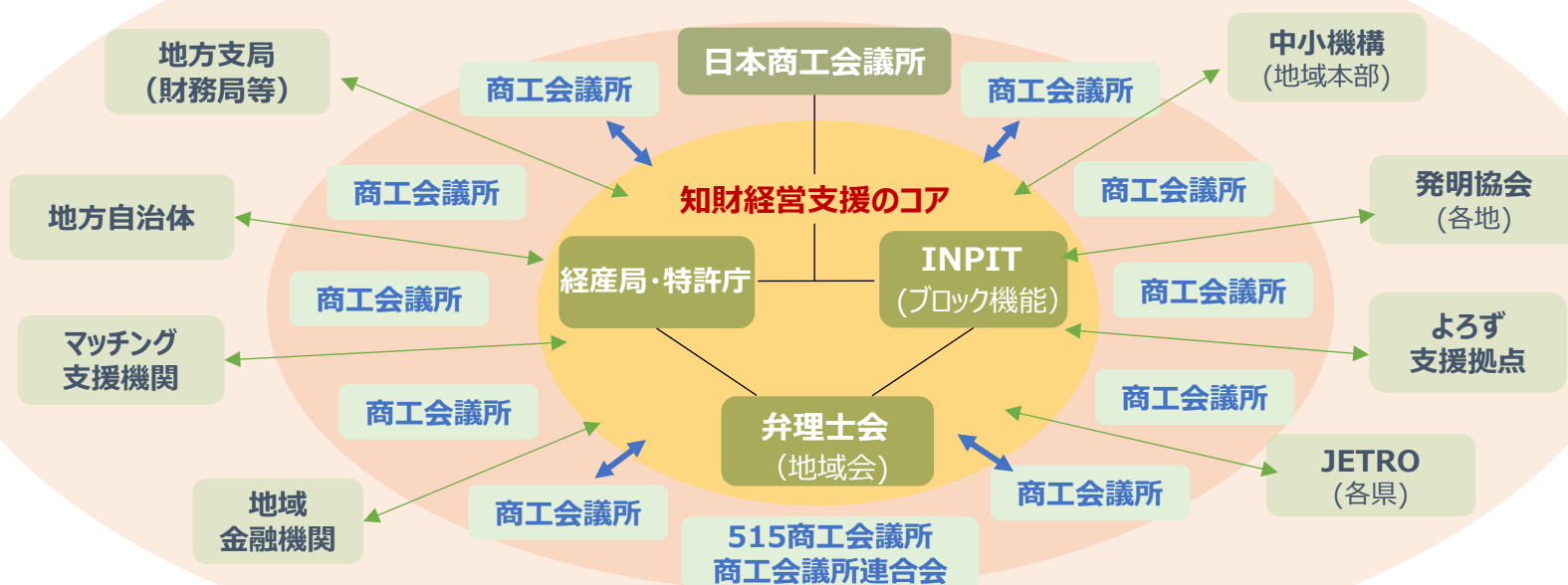
※関西共創の森とは、近畿に所在するジェットロや中小機構等の支援機関による企業支援プラットフォーム

<参考①> 4者連携（特許庁、日本弁理士会、日本商工会議所）



- 知財経営支援を通じ、中小企業、スタートアップ等の稼ぐ力を磨き上げ、付加価値拡大による地域経済の好循環を実現。
- 地域ブロックにおいて、弁理士会(地域会)、INPIT、経産局・特許庁が知財経営支援のコアとなり、地域の実情に応じて、全国の商工会議所と連携し、「地域知財経営支援ネットワーク」を形成する。「地域知財経営支援ネットワーク」は、各支援機関との連携を強め、ワンストップ機能を更に強化する。

地域知財経営支援ネットワーク



【知財経営】
知財(技術、ブランドなど)を強み
として生かして経営力強化

“稼ぐ力”の向上

知財経営支援

ニーズ・相談

中小企業・スタートアップ・大学

中小企業・スタートアップ
新たな付加価値の創造・拡大

地域経済の好循環の実現
良質な仕事と雇用の創出

INPIT、特許庁、日本弁理士会、日本商工会議所は4者で共同宣言を発表（令和5年3月24日）

- 問題意識：大企業に比して保有する経営資源の少ない中小企業・スタートアップにとって、**知的財産は重要な経営資源**であり、**知財経営への「気づき」と「支援強化」**が必要
- 共同宣言：INPIT、特許庁及び日本弁理士会は「**知財経営支援のコア**」を形成し、日本商工会議所と連携した「**知財経営支援ネットワーク**」を構築

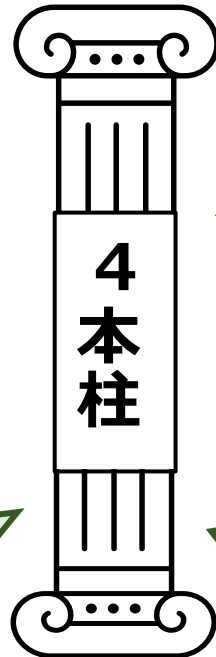
地域の中小企業・スタートアップへの知財経営支援の強化・充実化へ！

①地域ニーズに即した、地域ブロック毎の知財経営支援体制の構築

！各地域の経営、金融、海外展開等の支援機関との**連携を強め、ワンストップ機能を更に強化**

②全国一律で高品質な知財経営支援サービスの提供

！ブランディング、デザイン、オープン＆クローズ戦略、知財適正取引、海外展開等を**きめ細かく支援**



③大学をはじめ産学官連携による事業化への支援強化

！**大学・スタートアップ等における知財の戦略的取得・活用**に向けた専門家派遣・窓口支援

④企業内で活躍する知財経営人材、支援人材の育成強化

！**知財経営人材育成**に資するコンテンツ提供、セミナー等を開催

<参考③> 関係機関との連携協定

◆INPITは、以下の3機関との間で組織的連携強化に向けての連携協定を締結

① 公益財団法人全国中小企業振興機関協会

- 知財取引適正化に向けて、下請かけこみ寺との連携を強化。
- 中小企業庁取引課「知財Gメン」とも協働へ。

② 日本商工会議所

- 知財面を含む効率的な経営支援の推進に向けて全国の商工会議所との連携を強化。

③ 独立行政法人中小企業基盤整備機構

- 中小企業支援の中核機関たる中小機構との連携を強化。
- 中小企業等における知財経営の定着支援を強化。
- 知財を活用し稼ぐ力の向上を目指す。



全国中小企業振興機関協会



日本商工会議所



中小企業基盤整備機構



独立行政法人 工業所有権情報・研修館
National Center for Industrial Property
Information and Training

本資料については、総務部広報・情報公開担当まで
お問い合わせください。

【お問い合わせ先】

〒105-6008 東京都港区虎ノ門4-3-1
城山トラストタワー8階

TEL 03-3501-5765（直通）

「本資料に関する著作権は、（独）工業所有権情報・研修館に帰属します。本資料を許可無く転載することを禁じます。」

株式会社 百五銀行

● Profile

<住所>

三重県津市岩田21番27号

<沿革>

- 1878年に「第百五国立銀行」として創立
以後、三重県を地盤とする地方銀行として地域経済の発展に貢献
- コーポレートステートメント「FRONTIER BANKING」を掲げ
あらゆるハードルをのりこえ、新しい価値を生み出し、新境地の開拓を続ける
- 2024年を最終年度とする中期経営計画では「グリーン&コンサルバンク」を掲げ
地域のカーボンニュートラルへの公正な移行と、課題解決型のコンサルティングにより
地域企業の経営課題に対して様々なアプローチを実践

<外観>



<ロゴマーク>



株式会社 百五銀行

● 支援リソース、実績など

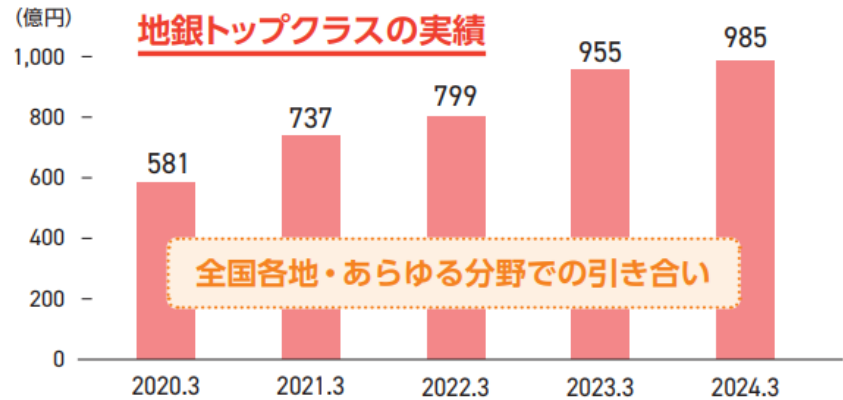
<コンサルティング>

- 創業支援、補助金活用支援、事業承継・M&A支援、財務支援
販路拡大支援、国際ビジネス支援、医療・介護ビジネス支援
農業ビジネス支援、観光ビジネス支援、PFI支援、脱炭素支援、
ICTコンサルティング支援 他

<特徴的な取組>

- PFI事業は全国トップクラスの実績があり、
2024年3月末時点で融資累計額は985億円、累計参画件数は66件
- 医療介護分野は古くから専任のコンサルタントを配置しており、
開業支援を事業の中心に、融資残高は東海地区最大規模
- 脱炭素支援にはいち早く取り組み、GHG排出量削減目標と
シミュレーションを提供する「百五脱炭素支援サービス」を2022年から提供

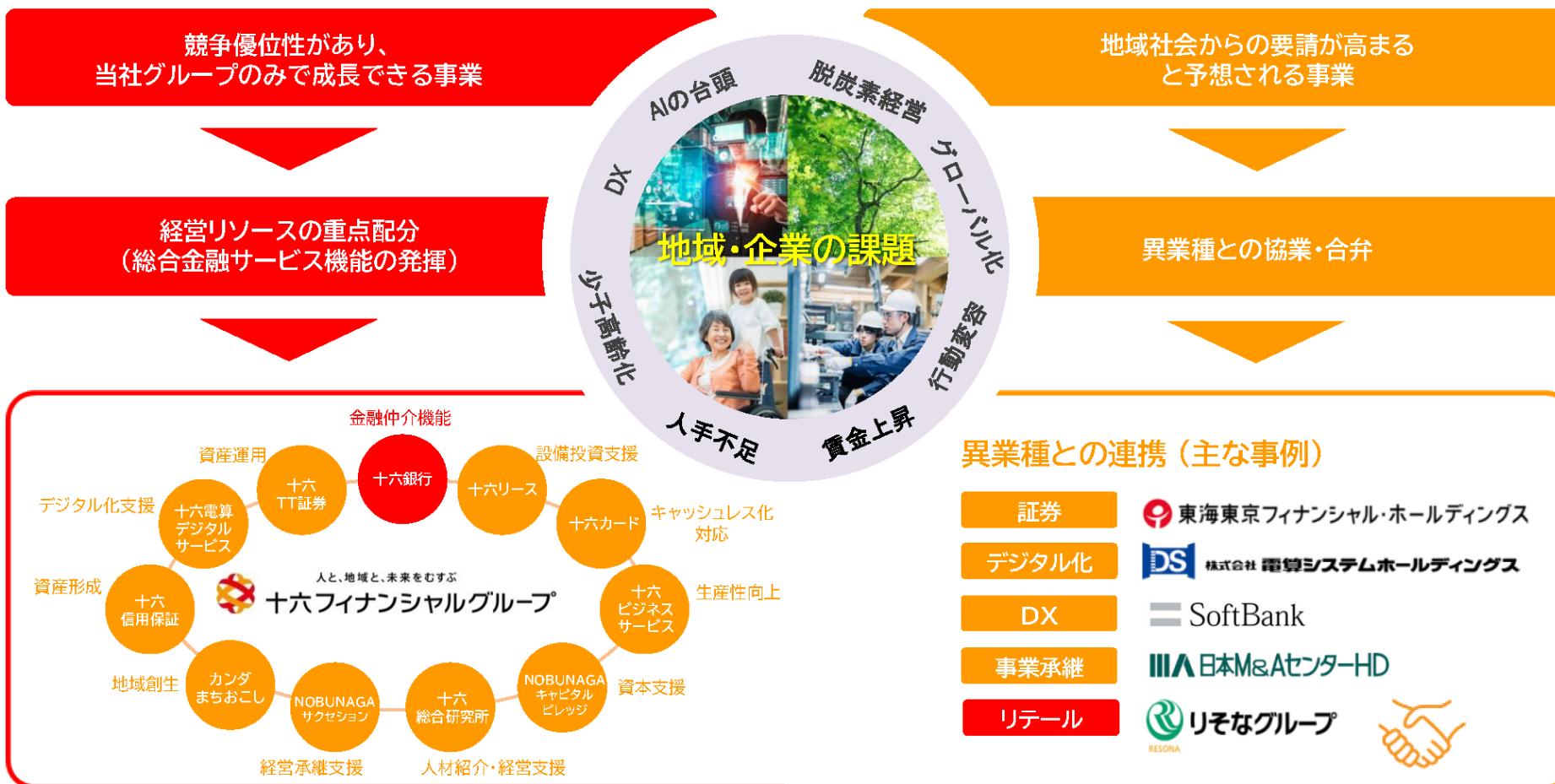
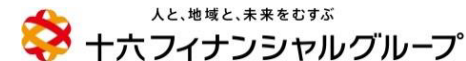
PFI 融資引受額累計



PFI 取組み実績

分野	件数	PFI取組件数累計 66件 約985億円 うち アレンジャー案件 37件 約550億円	所在地	件数
宿舍・庁舎・住宅	19		愛知	22
教育・文化施設	14		大阪	10
給食センター	11		東京	8
スポーツ・健康施設	8		三重	8
資源活用・浄水場	7		神奈川	5
その他(斎場、コンセ ッション ほか)	7		静岡 ほか	13

当社グループの成長戦略



株式会社十六銀行

● 支援リソース、実績など

製造業の方限定

CO2削減を実現するIoT工場見学会

2023.6.6 (火) 13:30-17:00

会場: 旭鉄工西尾工場
西尾市寺津町一之割1-1

参加費用: 44,000円/名(税込)
1社2名以上でご参加ください

スケジュール: 13:30概要説明・旭鉄工社長講演
14:10脱炭素経営について
弊行担当者講演
14:50工場見学
16:10質疑応答・個別相談会
17:00終了

特徴:

- IoTを実際に活用している製造現場を見ることができます。帳票類も見ることで生の運用がわかります。
- 脱炭素経営に関するルール・基準がわかります。



詳細・お申込み:
十六銀行ホームページ
「相談会・商談会・セミナーの
お知らせ」より



株式会社十六銀行

- 支援リソース、実績など

NOBUNAGA DX Pitch

2022.10.13 THU 15:00-16:45

Keynote Speaker



代表取締役 山田 裕一郎 氏

Pitch



Fairy Devices

WOVN.io

RoboFull

ハイブリッド開催

会場:

NOBUNAGAキャピタルビレッジ

定員20名

オンライン:

Zoomウェビナー形式

定員50名

お申込み・詳細:

十六銀行ホームページ「相談会・
商談会・セミナーのお知らせ」より



主催: NOBUNAGAキャピタルビレッジ・十六銀行・Carbide Ventures

お問い合わせ先: 十六銀行ソリューション営業部 058-265-2111

● 支援リソース、実績など

NOBUNAGA21 / STATION Ai presents

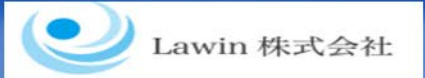
Encounter Day

2024.7.12 Fri 17:00~20:00

会場: グローバルゲート1F「アトリウム」「オープンエアプラザ」

Event Program

Pitch



Pickleball (Business×Sports)

イベント参加者でピククルボールをプレー！

★ピククルボールとは
1965年にアメリカで発祥した、バドミントン程度のコートにて ラケット(パドル)を用い、穴の 空いたプラスチック製のボールを打ち合う、テニスと 卓球の 中間に位置するようなスポーツ。



提供: Sansan株式会社



岐阜県産業経済振興センターの紹介

岐阜県の中小企業支援の中核拠点として、幅広い分野の支援施策を展開しています。

コーディネーターによる支援

様々なステージの事業者が抱える課題に対し、幅広い分野の専門家が総合的にアドバイスを行います。

補助金・助成金

課題に応じた補助金・助成金メニューを用意するほか、補助金の申請支援を行います。

新分野展開

ヘルスケア・航空宇宙に特化し、競争力強化・新規参入を支援します。

技術開発・産学官協同研究

産学官連携の支援に加え、成長型中小企業等研究開発支援（Go-Tech）の活用を支援します。

情報提供

中小企業専門図書館を設置するほか、県内地場産業の情報を定期的に発信します。

販路開拓

製造業向けの取引あっせんを通じ、取引拡大・ビジネスパートナー探しを支援します。

海外展開

県内事業者の海外展開（輸出・輸入・進出）を支援します。

令和6年度 産業振興部事業の概要

ヒト

モノ

カネ

アドバイザー派遣事業

- 1企業当たりの年間利用日数は最大3日
- 派遣費用の2分の1負担 通年
- 事業者負担：13,500円/回

3,240
千円

モノづくり現場 カイゼン力強化事業

- 製造工程の見直しや管理工程の見直しを
目指す企業等を対象に研修会を実施
- 受講料 8,000円（税込）
- 開講時期：10月中（西濃・中濃）

1,280
千円

女性創業アドバイザー

創業

女性創業アドバイザー設置事業

- 県内の起業を考えている女性を対象と
した女性創業アドバイザーによる専用
相談窓口開設 5月～

882
千円

事業可能性評価事業

- 複数の専門家からなる評価委員会で中小企業及び起業・創業
予定者の方の事業プランを販売
面・技術面等多面的に審査・評価
（事業化の可能性をA評価等
で評価）7月から公募予定
- 平成14年度から実施しており、
延べ186社がA評価を受証

560
千円

ビジネスプラン 発表会

- 中小・ベンチャー企業の資金
調達、技術提携、販路開拓等
の足がかりとするため、中部
圏の投資家等を集めて開催
- 10月開催
- 愛知県・三重県・名古屋市と
共催（岐阜県から3社参加）

52,577
千円

モノづくりコーディネーター



技術面・経営面の専門コーディネーターが主に御用聞き訪問し、中小
企業等が抱える課題の解決に向けて、実地で伴走支援する。
技術担当10名 経営担当7名 計17名
技術分野：生産技術・生産改善・製品開発・IT・DX・省エネ、脱炭素
経営分野：事業継続・経営戦略・資金計画・電動化

(国) よろず支援拠点コーディネーター

109,446
千円



岐阜県よろず支援拠点では、地域の支援機関等と連携して、丁寧な
相談対応を通じ、中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営課題
に対して、的確な解決策をチーム支援で提案する。
チーフコーディネーター1名、コーディネーター21名、計22名
専門分野：経営戦略・事業計画・人事戦略・営業推進・接客対応・
税務会計・IT・創業支援・法務対策・売上拡大・労務
管理・経営改善・事業承継・デザイン・事業計画・E
コマース・事業再生支援・価格転嫁対策等

創業

岐阜県地域課題解決型 起業支援金（県補助事業）

- 県外から移住して、地域課題解決に向
けて起業する方に助成。5月から公募
- 補助金額 最大200万円（補助対象経費
の1/2以内）

8,456
千円



創業

スタートアップ企業支援 事業費補助金（県補助事業）

- 県内の新規創業者、創業後5年未満の
中小企業者に対し、創業等の事業化に
必要な経費の一部を助成。5月から公募
- 補助金額 最大500万円（補助対象経費
の2/3以内、女性・障がい者は3/4以内）
- コンソーシアムが認定した事業は
補助金額 最大1,000万円
- コンソーシアム事務局運営

123,705
千円

2,530
千円

事業承継推進事業

- 岐阜県事業承継・引継ぎ支援センター
（岐阜商工会議所内）が開催する岐阜県
事業承継推進会議に、岐阜県等とともに
参画。
- 三機関連携（事業承継・引継ぎ支援セン
ター、中小企業活性化協議会、よろず支
援拠点）を積極的に推進。

112
千円

活用

活用

活用

活用

活用

活用

提案

相談



県内の中小企業・小規模事業者・起業を目指す方

[一覧に戻る](#)

公益財団法人ソフトピアジャパン

● Profile

<住所>

岐阜県大垣市加賀野4丁目1番地7

<特徴>

- あらゆる分野が情報化された「暮らしよい岐阜県」の実現を目指すため、1994年に設立。
- ソフトピアジャパン（SJ）エリアを県内産業の生産性の向上、高度化の拠点とし、IT・IoT導入・活用による地域産業の持続的発展と地域の特徴を活かすIT技術の創出を促進している。

<組織図>

デジタル経営推進

- 伴走型DX支援
- 専門家の派遣
- DX実践のための補助
- 他の支援機関との連携
- セミナー開催等を通じた事例紹介・普及啓発

コンソーシアム事務局運営

- 講演会・セミナー、研修会等
- 先進事例調査
- 調査研究・人材養成
- 会員間の連携やマッチングの支援
- 広報
- ワーキンググループが行う研究事業・実証事業への補助

デジタル人材育成

- DX・IT研修
- オーダーメイド研修
- 次世代人材の育成
- オープンイノベーション創出
- SJ企業支援

総務広報課

- 法人運営
- 予算全般
- 人事、労務、税務
- 財団デジタル化推進
- 財団広報



公益財団法人ソフトピアジャパン

● 支援リソース、実績など

< 個社（伴走型DX）支援 >

■ 専門家の派遣（年40～50社程度）

- ・ DXの推進に向けた簡易診断
- ・ IT・IoTを活用した業務改善・生産性向上支援（システム導入・更改、データ分析・活用によるカイゼン指導）
- ・ ノーコードツールを活用した業務効率化・DX人材育成支援
- ・ その他、新事業創出、個別原価管理、セキュリティ対策、勤怠管理などバックオフィスの業務改善への支援他

■ DX実践のためのIT・IoTツール等の導入支援（年15～20社程度）

■ 岐阜県内IT企業とのマッチング（DXの地産地消）支援

< 面的支援 >

■ 企業グループによる実証事業等支援（年10グループ程度）

■ オープンイノベーション創出・新サービス創出支援

< セミナー・研修 >

■ 普及啓発のための連携セミナー（年10回程度）

■ 新技術活用セミナー・ワークショップ（年3～5回程度）

■ DX・IT研修（年40～50講座）、オーダーメイド実践研修（年10社程度）

■ 先進企業見学会（年3～5回程度）

私たちと一緒に 技術を育てませんか？

無料
技術相談



こちらから



産総研が誇る技術・研究力があなたの会社のビジネスを加速させます！

製造過程での お困りごと相談

「環境対策」「歩留まり改善」など…
中部センターをはじめ、3000人の研究者が力になります！



わたしたちにできること

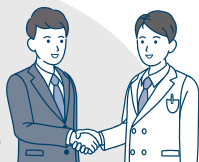


今ある技術を より良いものに

「開発期間の短縮」「性能アップ」など…
さらなる高みを目指すためのアドバイスができます。

研究開発を 一緒に進める

専門知識を活用した科学的裏付けのある技術開発を実施できます。
また、先端性能を持つ装置や国内唯一の装置を利用できます！

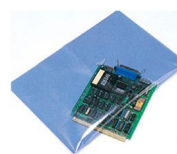


連携事例

高松油脂株式会社

粘土鉱物を利用した 高耐水性帯電防止コーティング剤

粘土鉱物の耐水性と帯電防止性能はトレードオフの関係がありますが、これらを両立させることが大きな課題でした。産総研ご提案の特殊合成粘土と架橋剤を組み合わせることで両立を可能にしました。今後も粘土鉱物の特性を活かした製品開発を行っていきます。



日本メナード化粧品株式会社／三信鉱工株式会社／株式会社ナノシーズ

粉末化粧料の光学・機械的・ 薬剤放出特性向上

化粧品開発は、会社ごとに独自の処方ノウハウが多いため、当初は連携に消極的でした。しかし連携の結果、商品開発におけるニーズをもとに、①産総研のシーズ ②連携体制による独自原料の開発実験と試作 ③三信鉱工(株)による原料生産 ④(株)ナノシーズの協力による独自原料配合の化粧品使用感評価 という川上から川下までの一貫した研究開発ができるようになりました。



<その他の連携事例>

- ・木材の流動成形による「竹のスピーカー振動版」(チヨダ工業株式会社)
- ・耐酸化性WC-FeAl超硬合金の開発(株式会社ノトアロイ)
- ・燃料電池用水素デリバリーASSYの開発(愛三工業株式会社)



詳細はこちら

産総研では各種プログラムであなたの会社をサポートします！



https://www.aist.go.jp/chubu/ja/collabo/consultation_form.html

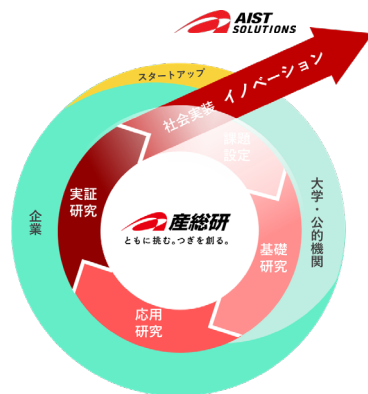
まずはこちらから！
■ 技術相談

- 共創型コンサルティング
- 技術コンサルティング
- 共同研究
- 公的資金

産総研とは？

多様な研究領域をもつ総合力を活かし、

世界に先駆けた社会課題の解決に向けて研究を実施しています



1
日本に**3組織**しかない
特定国立研究開発法人

4
140年以上の歴史
1882年 地質調査所としての始まり
2001年 工業技術院から産総研に

2
年間共同研究契約数
約**3,000件**
技術相談数は年間約**2,000件**
技術コンサルティング件数は年間約**800件**

5
全国に**12か所**
のネットワーク

6
7つの研究領域

- エネルギー・環境
- 生命工学
- 情報・人間工学
- 材料・化学
- 計量標準
- 地質調査
- エレクトロニクス・製造領域

3
約**11,400名**が
研究開発活動を実施
研究系職員 約**2,400名**
事務系職員 約**700名**
契約職員(ポスドク等) 約**3,200名**
その他(産学官制度来所者等) 約**5,100名**



無機系材料を中心とした研究開発に特化しています

木質材料

金属

材料AI

研究職員は約**100名**

複合材料

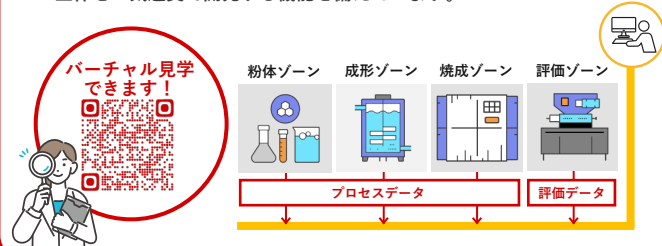
セラミックス

磁性材料

中部センターでは”材料開発・評価に必要な装置群”を備えています！

MPIプラットフォーム

自動車や航空宇宙機器のモビリティ用材料等に利用されるセラミックスや合金等について、原料となる粉体合成から部素材に至るまでのプロセス全体を一気通貫で開発する機能を備えています。



低酸素粉末冶金プラットフォーム

金属粉末に対し、大気暴露することなく極低酸素下で粉砕から焼結まで一気通貫で行うことができるプロセス設備と各種評価設備を保有しています。



低酸素粉末冶金システム



希土類焼結磁石

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 中部センター

〒463-8560 愛知県名古屋市守山区桜坂四丁目205番地

☎ 052-736-7370

2024年11月版

中部センターHP▶

<https://www.aist.go.jp/chubu/>



中部センターの特徴

一覧に戻る